

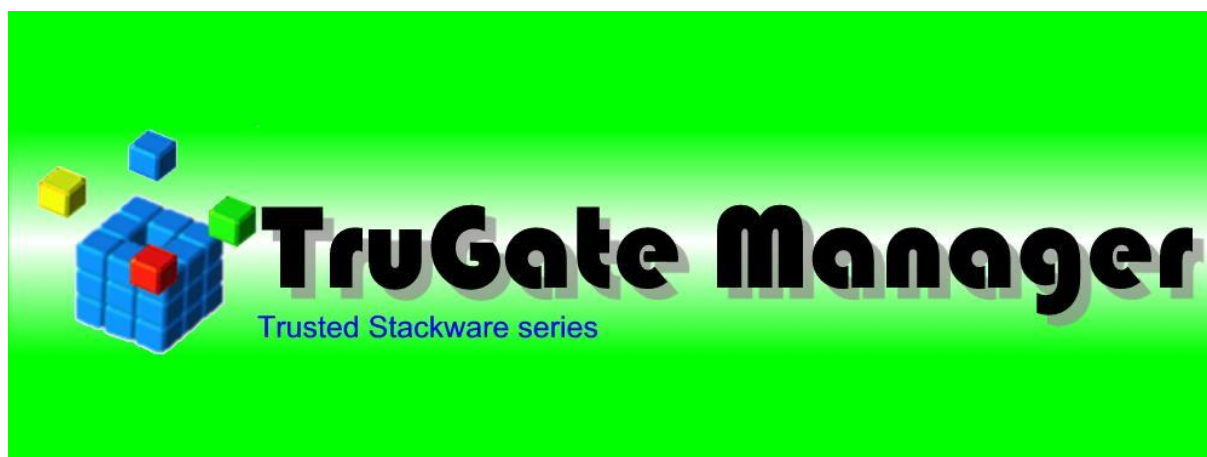
TruGate Manager

Trusted Stackware Products

管 理 ユーティリティ

ユーザーズガイド

Rev. 1.0.7



有限会社ディーオーアイネット

免責事項

- 1) 本資料に掲載された内容に起因する直接的および間接的な損害またはその他の権利の侵害に関して当社は一切その責任を負わない。
- 2) 本資料によって第三者または当社の特許権その他の権利を承諾するものではない。
- 3) 本資料の一部または全部を当社に無断で転載複製する事を禁ずる。
- 4) 本資料に記載された仕様等は改良などの目的で予告なく変更する場合がある。

本資料に記載された会社名ならびに製品名は各社の商標もしくは登録商標です。
本製品を輸出する場合は外国為替及び外国貿易法並びに米国の輸出管理法などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

変更履歴

Rev.	発行年月日	修正内容
1.0.0	2010/11/11	初版。
1.0.1	2012/04/17	ポリシーテンプレートに TruCSP の項目を追加。 バージョンアップに伴い対応 OS から Windows 2000 を削除。
1.0.2	2013/05/10	対応 OS に Windows 8、Windows Server 2012 を追記。 試用期間を変更。
1.0.3	2013/06/09	テンプレートの設定に追記。
1.0.4	2014/12/04	対応 OS から日本語版の表記を削除。
1.0.5	2015/04/09	ポリシーテンプレートを利用した配布例の項を Windows Server 2008 を基に更新。
1.0.6	2015/07/21	対応 OS に Windows 10 を追記。 ODBC 関連の説明を追記。
1.0.7	2023/10/27	対応 OS を変更。

目次

1. はじめに	10
2. 動作環境について	10
a. 対応 OS	10
b. 利用可能な認証デバイス	10
c. 必要なデバイスプラグイン	10
d. インストール要件	10
e. 動作要件	10
3. 製品概要	10
a. 製品構成	10
b. パッケージ	11
i. シングルライセンス版	11
ii. ボリュームライセンス版	11
4. 制限および注意事項	11
5. インストールとアンインストール手順	11
a. インストール	11
b. アンインストール	14
6. 操作方法	16
a. 初期設定	16
i. TruGate Manager の起動	16
1) ライセンスの検証	17
ii. 管理者登録	18
b. 起動時の認証	19
i. 管理者認証	19
c. 機能詳細	19
i. メインメニュー	19
ii. 管理者登録	20
iii. 管理者削除	20
iv. TruPass 環境設定	23
1) ジャーナルの格納場所	23
(a) Local Settings	23
(b) Flash Disk	23
2) 認証	24
(a) 認証ダイアログ	24
(b) デバイス選択ダイアログ	24
3) プレイヤーの認識率	24
4) 再生テスト時ディレイ	24

5) 通常再生時ディレイ	24
6) 管理者設定	24
(a) 環境設定	24
(b) 格納場所選択	24
(c) 機能許可	24
7) 各機能の使用許可	24
(a) ジャーナルの再生	24
(b) ジャーナルの作成	25
(c) ジャーナルファイルの管理	25
8) 互換性	25
v. TruPass ファイル管理	25
1) 個別ファイルコピー	25
(a) Local Settings から Flash Disk へ	25
(b) Flash Disk から Local Settings へ	25
2) 全ファイルコピー	25
(a) Local Settings から Flash Disk へ	25
(b) Flash Disk から Local Settings へ	26
3) 全ファイル削除	26
(a) Local Settings 側のジャーナル全削除	26
(b) Flash Disk 側のジャーナル全削除	27
4) 個別ファイル削除	27
(a) Local Settings 側のジャーナル個別削除	27
(b) Flash Disk 側のジャーナル個別削除	27
5) ジャーナル編集	27
(a) Local Settings 側のジャーナル編集	27
(b) Flash Disk 側のジャーナル編集	27
(c) ジャーナルのフィールド構成	28
vi. パスワードの消去	28
vii. パスワード一括設定	29
1) CSV ファイルのフィールド構成	29
viii. 証明書と秘密鍵の消去	31
ix. Well Known User 登録	32
x. Well Known User 削除	33
xi. 製品登録	35
xii. 設定ファイルのエクスポート	35
xiii. 終了	36
7. 運用のヒント	38

a.	ジャーナルファイルの配布	38
b.	環境設定値の配布	38
c.	Well Known User リストの配布	38
8.	ポリシーテンプレートを利用した配布例	39
a.	配布用グループポリシーオブジェクトの作成	39
i.	Active Directory ユーザーとコンピュータの起動	39
ii.	OU の新規作成	39
iii.	配布対象クライアント PC の登録	40
iv.	グループポリシーオブジェクトの新規作成	41
b.	配布用グループポリシーの作成	42
i.	テンプレートの設定	42
1)	テンプレートの追加	42
2)	テンプレートの設定	44
(a)	ドメインログオン時にユーザー認証を行う	45
(b)	ワークグループログオン時にユーザー認証を行う	46
(c)	認証前に Flash の取外しを要求する	46
(d)	前回ログオンしたユーザー名にて自動ログオンを試みる	46
(e)	パスワードの登録設定操作を禁止する	46
(f)	ログオン前の Ctrl+Alt+Del の入力を省略する	47
(g)	ログオン後に Ctrl+Alt+Del が押された時の動作	47
(h)	製品登録キー	47
(i)	ODBC を使用する	47
(j)	ローカルデータベースを使用する	47
(k)	複数の登録済み Plugin から有効なデバイスを自動検出する	49
(l)	使用する Plugin の初期番号	49
(m)	登録した TruGate Plugin の番号一覧	49
c.	配布	56
d.	ポリシーテンプレートアップデート時の注意	56

図表目次

図 1 セットアップウィザード起動画面	12
図 2 使用許諾契約画面	12
図 3 インストール先フォルダ画面	13
図 4 インストール準備完了画面	13
図 5 インストールインジケータ画面	14
図 6 インストール完了画面	14
図 7 アプリと機能画面	15
図 8 アンインストール確認画面	15
図 9 アンインストールインジケータ画面	16
図 10 TruGate Manager の起動	17
図 11 試用期間中注意画面	17
図 12 試用期間終了注意画面	18
図 13 初回起動時管理者登録要求画面	18
図 14 管理者登録画面	18
図 15 管理者登録終了画面	19
図 16 管理者認証画面	19
図 17 TruGate Manager メインメニュー画面	20
図 18 管理者追加登録画面	20
図 19 管理者削除画面	21
図 20 管理者削除画面 - リストから選択	21
図 21 管理者削除画面 - 削除	21
図 22 管理者削除画面 - リストから削除	22
図 23 管理者削除画面 - 全削除	22
図 24 管理者全削除確認画面	22
図 25 管理者削除画面 - リストから削除	23
図 26 TruPass Manager Configuration 画面	23
図 27 TruPass Administrative File Manager 画面	25
図 28 ジャーナルファイルの全コピー確認画面 - 1	26
図 29 ジャーナルファイルの全コピー確認画面 - 2	26
図 30 ジャーナルファイルの全削除確認画面 - 1	27
図 31 ジャーナルファイルの全削除確認画面 - 2	27
図 32 ジャーナルファイルの編集画面	28
図 33 パスワードの消去画面	29
図 34 パスワードの消去画面 - 終了	29
図 35 CSV ファイルの選択画面	30
図 36 パスワードの一括設定画面	31

図 37 パスワードの一括設定画面 — 終了	31
図 38 証明書と秘密鍵の消去画面	32
図 39 証明書と秘密鍵の消去画面 — 終了	32
図 40 Well Known User 追加登録画面	32
図 41 Well Known User 削除画面	33
図 42 Well Known User 削除画面 — リストから選択	33
図 43 Well Known User 削除画面 — 削除	33
図 44 Well Known User 削除画面 — リストから削除	34
図 45 Well Known User 削除画面 — 全削除	34
図 46 Well Known User 全削除確認画面	34
図 47 Well Known User 削除画面 — リストから削除	35
図 48 製品登録画面	35
図 49 設定ファイルのエクスポート画面	36
図 50 エクスポートの終了画面	36
図 51 TruGate Manager の終了画面	37
図 52 Active Directory ユーザーとコンピュータ — 起動画面	39
図 53 Active Directory ユーザーとコンピュータ — OU の新規作成	40
図 54 OU の作成	40
図 55 Active Directory ユーザーとコンピュータ — 新規 OU へ配布対象 PC を登録	41
図 56 グループポリシーの管理 — GPO の新規作成	41
図 57 新しい GPO — 名前の指定	42
図 58 グループポリシーの管理 — ポリシーの編集	42
図 59 グループポリシー管理エディタ — テンプレートの追加	43
図 60 テンプレートの追加と削除 — 起動画面	43
図 61 ポリシーテンプレートの選択	44
図 62 テンプレートの追加と削除 — テンプレートの追加	44
図 63 グループポリシー管理エディタ — TruGate の設定	45
図 64 TruGate のプロパティ	45
図 65 グループポリシー管理エディタ — TruGate Plugin の設定	48
図 66 TruGate Plugin のプロパティ	48
図 67 グループポリシー管理エディタ — TruPass の設定	49
図 68 管理者設定のプロパティ	50
図 69 ジャーナルの再生のプロパティ	51
図 70 ジャーナルの作成のプロパティ	51
図 71 ジャーナルファイルの管理のプロパティ	52
図 72 環境設定のプロパティ	53
図 73 グループポリシー管理エディタ — TruCSP の設定	53

図 74 TruCSP のプロパティ.....	54
図 75 証明書格納プロバイダのプロパティ.....	55
図 76 暗号サービスプロバイダのプロパティ.....	55

1. はじめに

本ユーザーズガイドでは、ディーオーアイネット社製 Trusted Stackware Products 用 TruGate 管理ユーティリティ(以下 TruGate Manager と呼称)の操作手順を説明します。

2. 動作環境について

a. 対応 OS

Windows 10 32bit/64bit

Windows 11

Windows Server 2016

Windows Server 2019

b. 利用可能な認証デバイス

併用する TruGate に依存します。詳細は、TruGate のユーザーズガイドをご参照ください。

c. 必要なデバイスプラグイン

併用する TruGate に依存します。詳細は、TruGate のユーザーズガイドをご参照ください。

d. インストール要件

TruGate がインストールされている事。

e. 動作要件

TruGate がインストールされており、認証に利用出来るように初期設定されている事。

ボリュームライセンス版の場合、管理者用クライアントPCに TruGate、TruPass、TruCSP 等をインストールする際、「セットアップタイプ」が「完全」でインストールされ、かつ初期設定されている事。

3. 製品概要

a. 製品構成

TruGate Manager は、ディーオーアイネット社製 TruGate、TruPass、TruCSP 等を利用している企業ユーザーの管理者向け製品であり、主に下記に示す機能を提供します。

1. TruGate で使用するパスワードの設定および削除。
2. TruPass の初期値設定。
3. TruPass のジャーナル情報の管理。
4. TruCSP で使用する証明書/秘密鍵情報格納エリアのクリア。

5. 配布用グループポリシーテンプレートの生成(ボリュームライセンス版のみ)。

b. パッケージ

インストーラパッケージにはシングルライセンス版とボリュームライセンス版の 2 種類があります。

i. シングルライセンス版

主に個人ユーザー向けの製品パッケージです。exe インストーラパッケージで提供されます。試用期間は 1 ヶ月です。試用期間中は、幾つかの機能において、設定値の保存ができない等の制限があります。

ii. ボリュームライセンス版

主に企業ユーザー向けの製品パッケージです。msi インストーラパッケージで提供されます。また、インストールされた PC 上の OS の「アプリと機能」からは削除できません。削除は Active Directory サーバーもしくは msi インストーラを再起動して実施します。32bit 版と 64bit 版があり、試用期間は 3 ヶ月です。試用期間中は、幾つかの機能において、設定値の保存ができない等の制限があります。

4. 制限および注意事項

1. TruGate Manager は、管理者用クライアント PC にのみインストールしてご使用ください。
2. パスワードの設定は、Windows OS やドメインに対しても行われます。
3. パスワードの削除は、TruGate に対してのみ行われます。Windows OS やドメインのパスワードの削除は行いません。
4. ローカル PC とドメインで同一のユーザー名が存在する場合は、パスワードを夫々設定して運用してください。
5. ドメインのパスワード設定には、ドメインの管理者権限を持つユーザーでドメインにログオンしている必要があります。
6. ローカル PC のパスワード設定には、ローカル PC の管理者権限を持つユーザーで Windows にログオンしている必要があります。

5. インストールとアンインストール手順

注) インストールする前に、TruGate Manager のインストール要件をご確認ください。インストール及びアンインストールは、ローカルコンピュータの管理者権限でログオンして行ってください。

a. インストール

Trusted Stackware Products Management Utility.exe を実行すると下記に示す画面が表示されますので「次へ」ボタンをクリックしてください。



図 1 セットアップウィザード起動画面

次に、使用許諾契約画面が表示されますので、画面中の「ソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みになった上、ご同意頂ける場合のみ「使用許諾契約書のすべての条項に同意します」ラジオボタンをチェックし、「次へ」ボタンをクリックしてください。

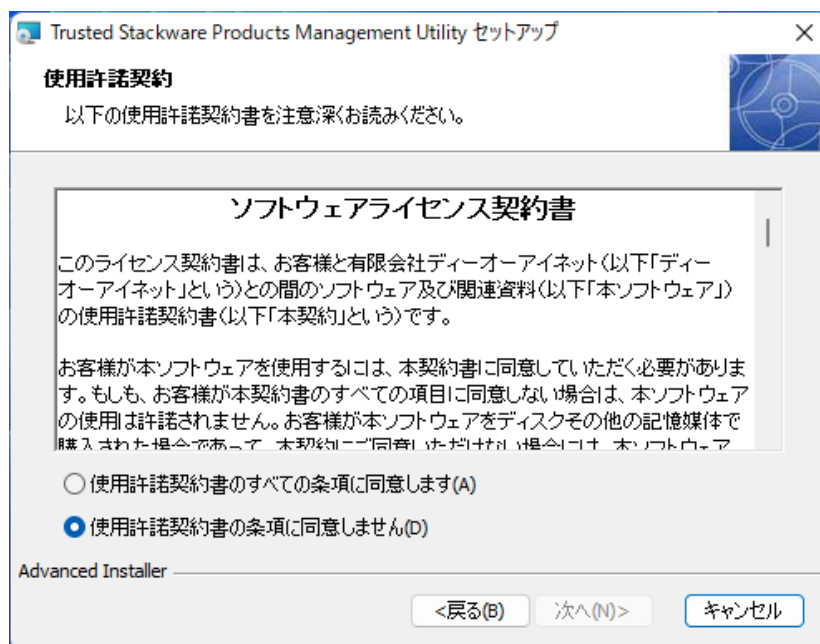


図 2 使用許諾契約画面

次に、インストール先フォルダ画面が表示されたら、変更の必要がある場合のみ変更してください。通常は変更せずに、「次へ」ボタンをクリックしてください。

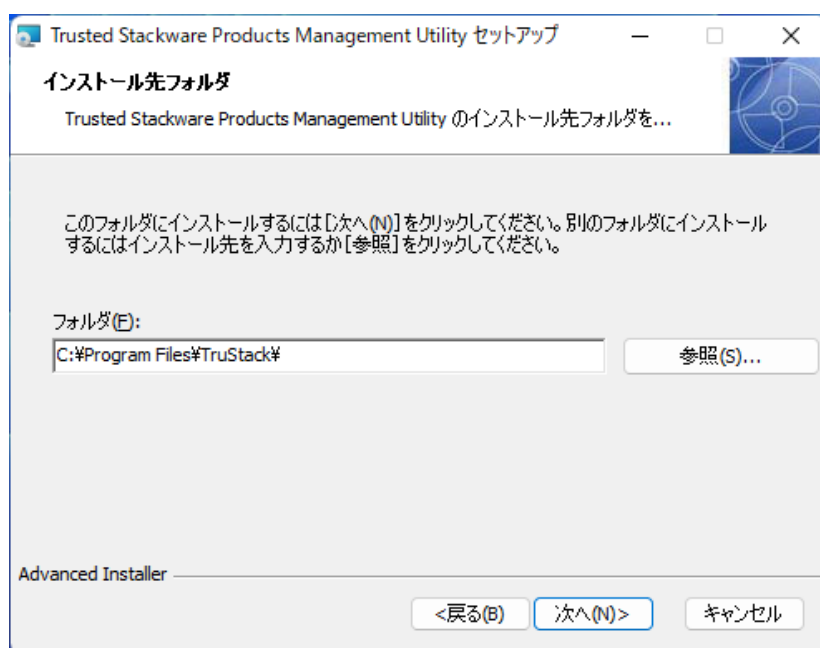


図 3 インストール先フォルダ画面

次に、インストール準備完了画面が表示されますので、ここまでの操作で変更の必要が無い場合は、「インストール」ボタンをクリックしてください。変更したい場合は、「戻る」ボタンをクリックし、変更を希望する画面まで戻って、やり直してください。

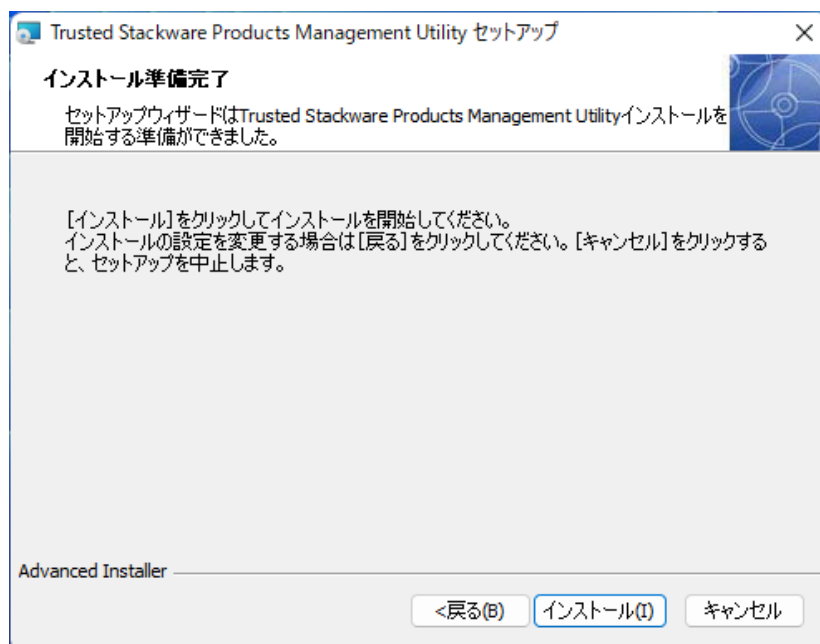


図 4 インストール準備完了画面

インストール中は、下記に示すインジケータ画面が表示されます。

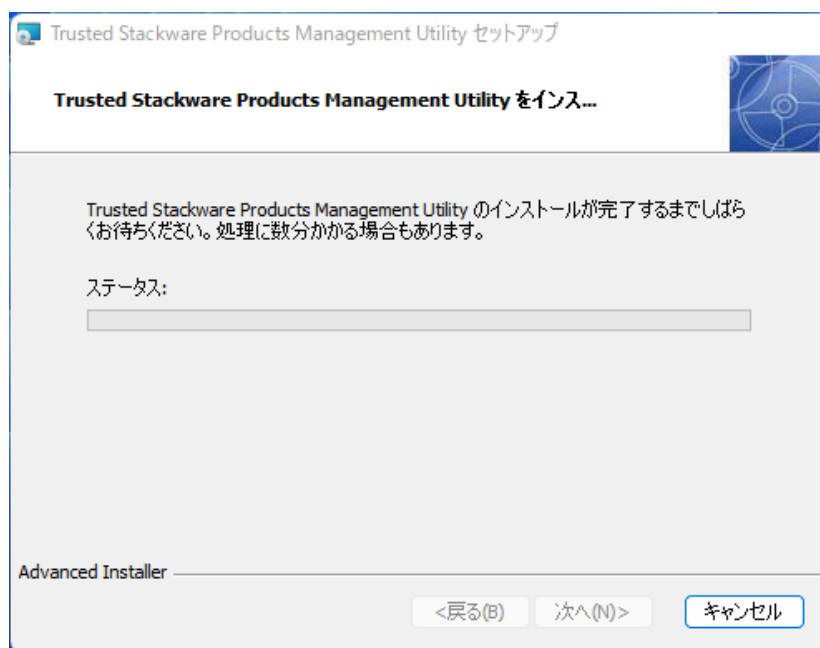


図 5 インストールインジケータ画面

インストールが終了すると、下記に示すインストール完了画面が表示されますので、「完了」ボタンをクリックしてください。



図 6 インストール完了画面

b. アンインストール

OS の「アプリと機能」から Trusted Stackware Products Management Utility を選択してくださ

い。

以下は、Windows 11 での操作例です。

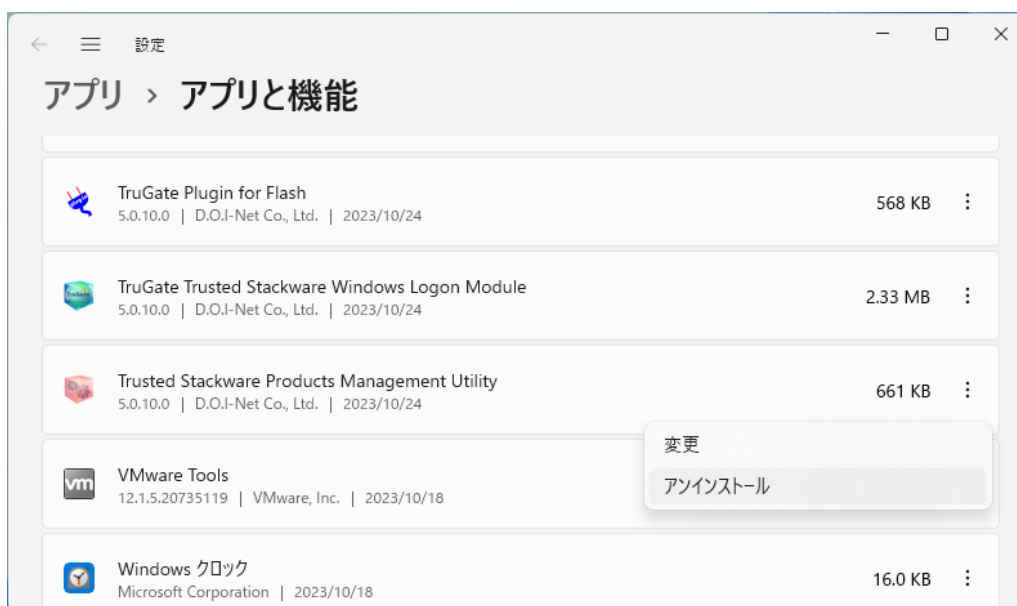


図 7 アプリと機能画面

アンインストールをクリックし、メッセージに従って TruGate Manager のアンインストールを行ってください。

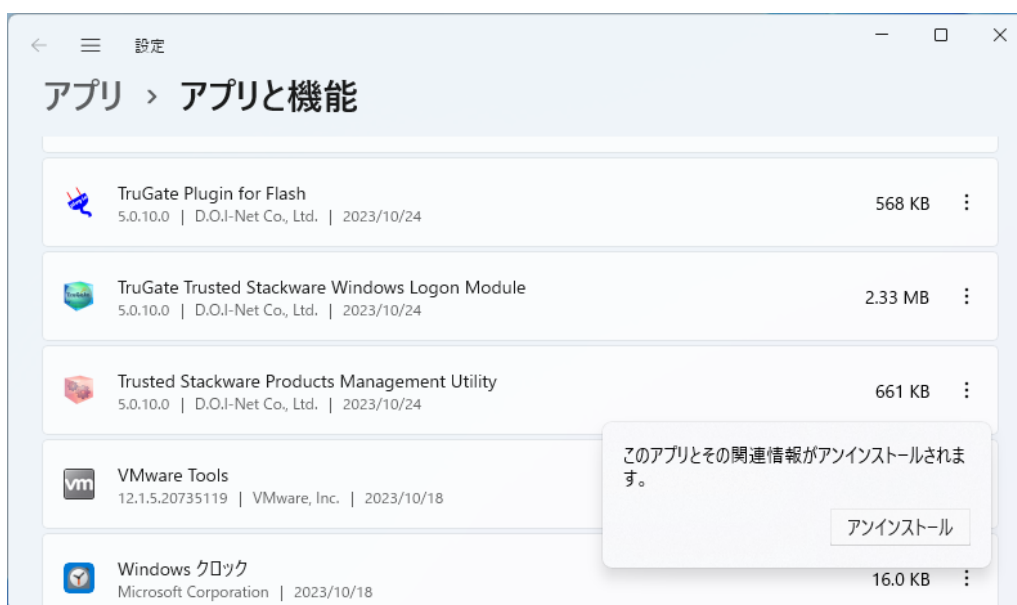


図 8 アンインストール確認画面

アンインストール中は、下記に示すインジケータ画面が表示されます。

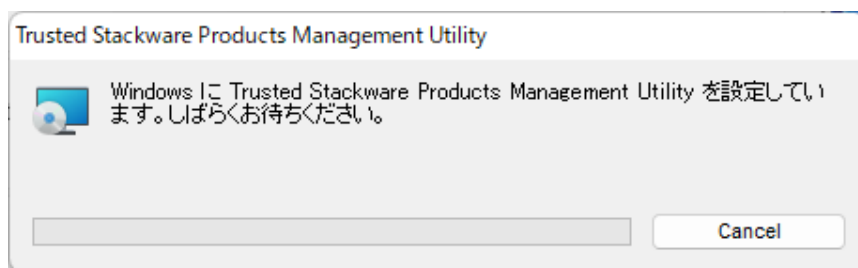


図 9 アンインストールインジケータ画面

アンインストールが終了すると、インジケータ画面が消えます。

6. 操作方法

a. 初期設定

TruGate Manager を使用するに際し、先ず下記手順に従って初期設定を行ってください。

注）初期設定を行わないと、使用できません。

i. TruGate Manager の起動

TruGate Manager をインストールした後、管理者権限のあるユーザーで PC にログオンしてください。

「スタート」－「すべてのアプリ」－「TruStack」－「TruGate マネージャー」の順にクリックして起動します。



図 10 TruGate Manager の起動

1) ライセンスの検証

試用期間中の場合、下記に示す様なポップアップメッセージが表示されます。メッセージが表示された場合は、「OK」ボタンをクリックしてください。

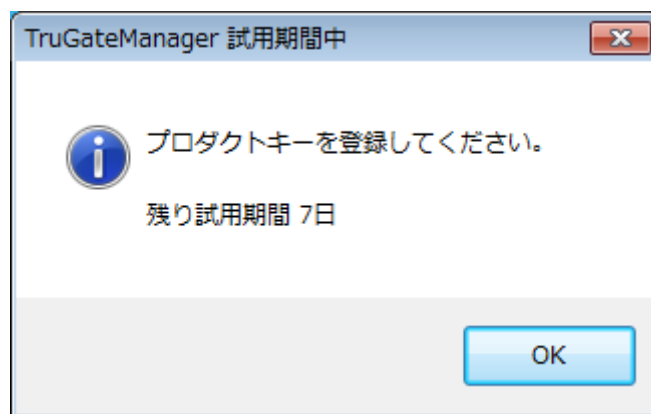


図 11 試用期間中注意画面

注) シングルライセンス版の試用期間は 1 ヶ月、ボリュームライセンス版の試用期間は 3 ヶ月です。インストール後、試用期間を経過すると使用できなくなります。引き続き使用する場合は、製品登録を行ってください。

試用期間が過ぎた場合は、下記に示す様なダイアログボックスが表示されます。継

続いて使用する場合は、プロダクトキーをエディットボックスに入力した後、「OK」ボタンをクリックしてください。試用を終了する場合は「キャンセル」ボタンをクリックし、TruGate Manager をアンインストールしてください。

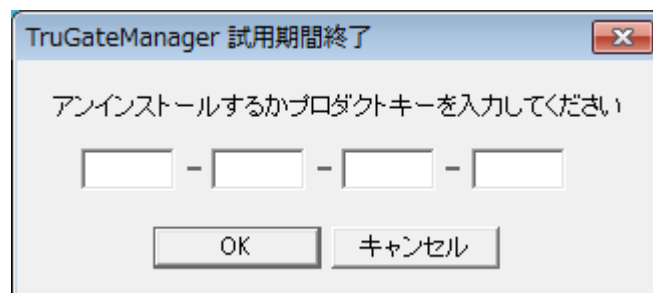


図 12 試用期間終了注意画面

ii. 管理者登録

TruGate Manager の初回起動時に、TruGate Manager を使用する管理者の登録を行う必要があります。管理者は、併用する TruGate のユーザーとして、事前に登録されていなければなりません。

下記の画面が表示されましたら、「はい」ボタンをクリックしてください。

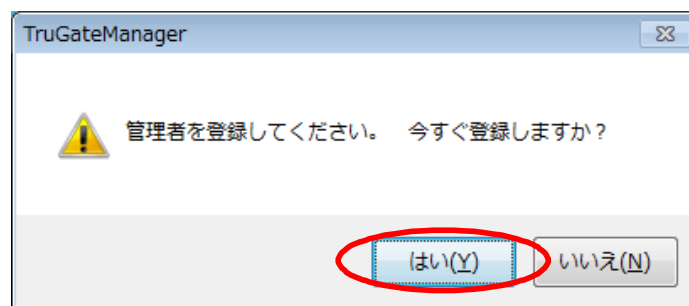


図 13 初回起動時管理者登録要求画面

次に、下記画面が表示されましたら、管理者として登録するユーザー名を入力した後、「OK」ボタンをクリックし、認証を実施します。

注) 既存の Well Known User を管理者として登録した場合、認証は実施されません。

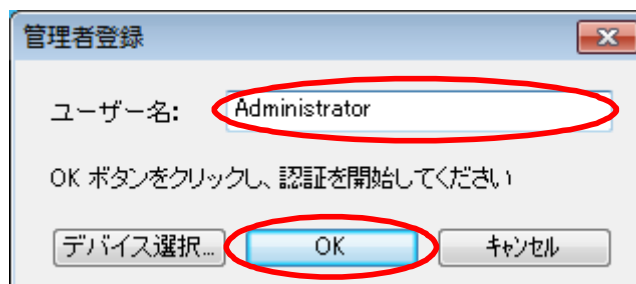


図 14 管理者登録画面

認証に成功すると、管理者登録が正常終了します。

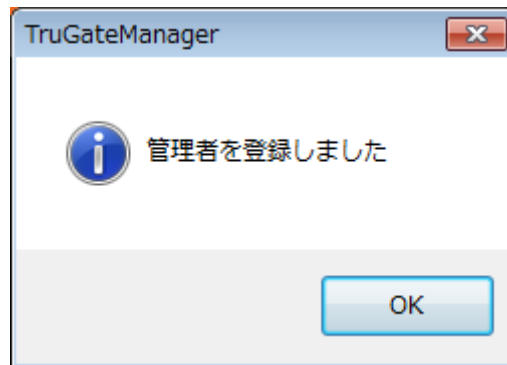


図 15 管理者登録終了画面

初回起動時の管理者登録が終了すると、次項の管理者認証に自動的に移行します。

b. 起動時の認証

i. 管理者認証

TruGate Manager の起動に際し、TruGate Manager の登録済み管理者の認証が要求されます。

下記の画面が表示されましたら、TruGate Manager の登録済み管理者のユーザー名を入力した後、「OK」ボタンをクリックし、認証を実施してください。

注) 登録済み管理者が Well Known User である場合、認証は実施されません。

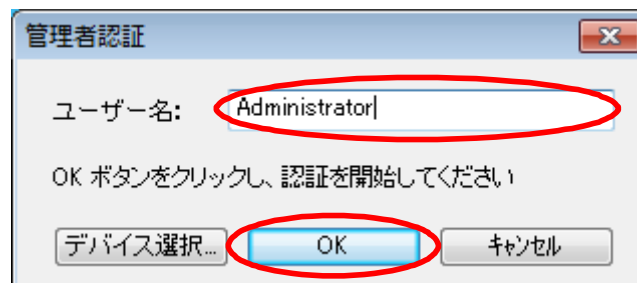


図 16 管理者認証画面

認証に成功すると、次項の TruGate Manager メインメニューが表示されます。

c. 機能詳細

i. メインメニュー

管理者認証に成功すると、下記に示す TruGate Manager メインメニューが表示されます。

メインメニューが表示されたら、必要に応じて、操作対象のデバイスの選択と設定を行ってください。変更しない場合は、TruGate の初期選択デバイスが用いられます。

注) ドメインのパスワード操作には、ドメインの管理者権限を持つユーザーでログオンし

ている必要があります。ドメインにログオンしていない場合は、ドメイン用のパスワードを操作することはできません。

エクスポート機能は、ボリュームライセンス版にのみ実装されています。

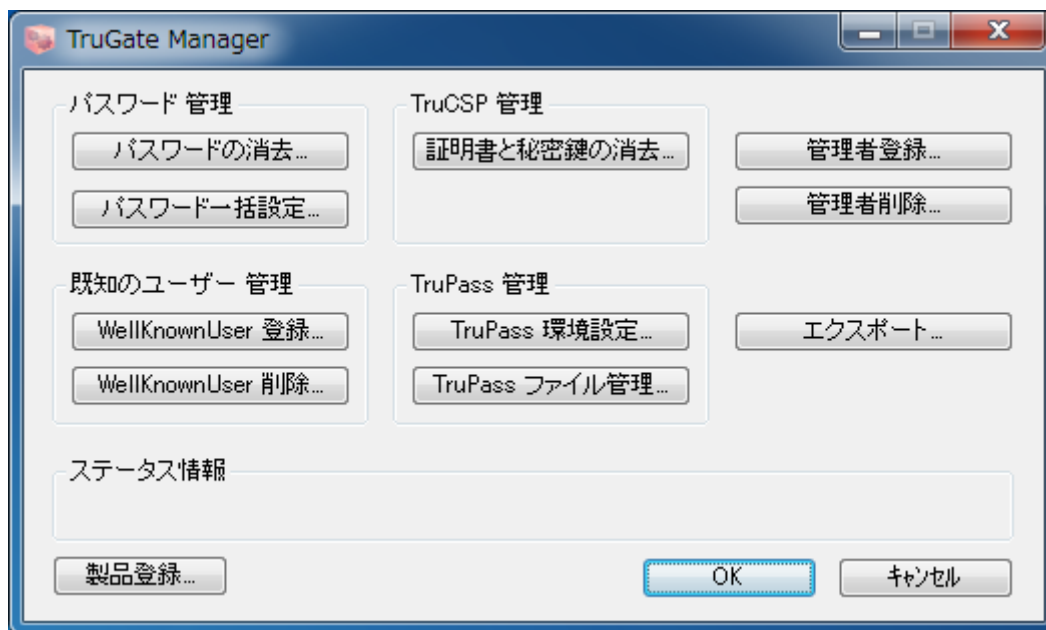


図 17 TruGate Manager メインメニュー画面

ii. 管理者登録

管理者登録では、TruGate Manager の管理者を追加登録することができます。メインメニュー中の「管理者登録...」ボタンをクリックすると、下記に示す画面が表示されます。管理者として追加登録したいユーザー名を入力した後、「OK」ボタンをクリックし、認証を実施します。



図 18 管理者追加登録画面

認証に成功すると、管理者が追加登録され、メインメニューに戻った際、ステータス情報欄に「管理者を追加登録しました」と表示されます。

iii. 管理者削除

管理者削除では、TruGate Manager の登録済み管理者を削除することができます。メインメニュー中の「管理者削除...」ボタンをクリックすると、下記に示す画面が表示され

ます。

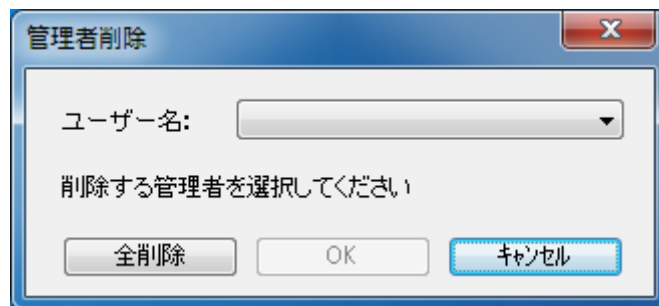


図 19 管理者削除画面

個別に削除したい場合は、ユーザー名ドロップダウンリストより、削除したい管理者を選択します。

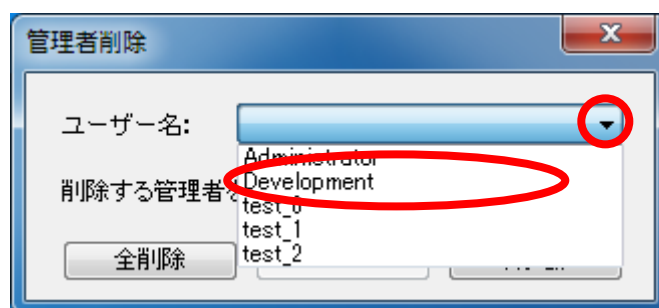


図 20 管理者削除画面 - リストから選択

削除したい管理者を選択したら、「削除」ボタンをクリックしてください。

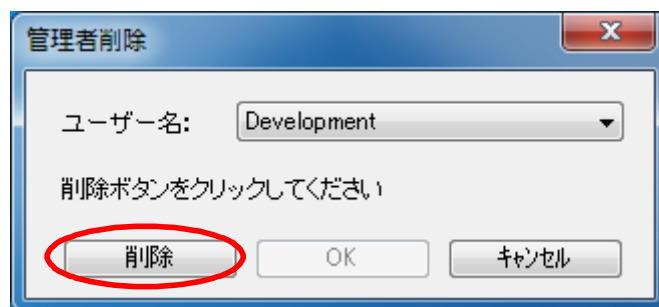


図 21 管理者削除画面 - 削除

リストから管理者の削除に成功すると、下記に示す様なメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、削除が完了します。「キャンセル」ボタンをクリックすると、削除を中止します。

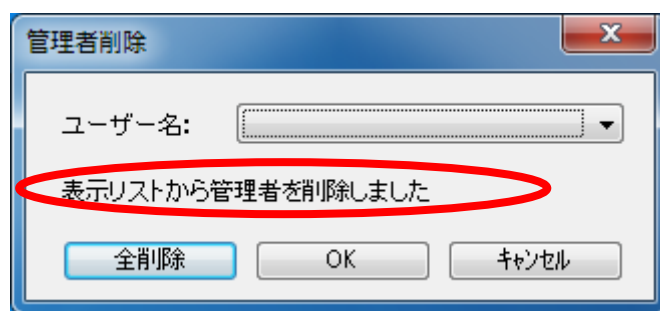


図 22 管理者削除画面 - リストから削除

全ての管理者を削除したいときは、「全削除」ボタンをクリックしてください。

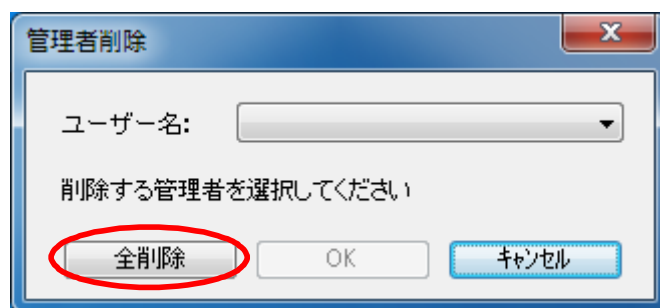


図 23 管理者削除画面 - 全削除

全削除の場合は、下記に示す確認ダイアログが表示されます。全ての管理者を削除してよい場合のみ、「はい」ボタンをクリックしてください。

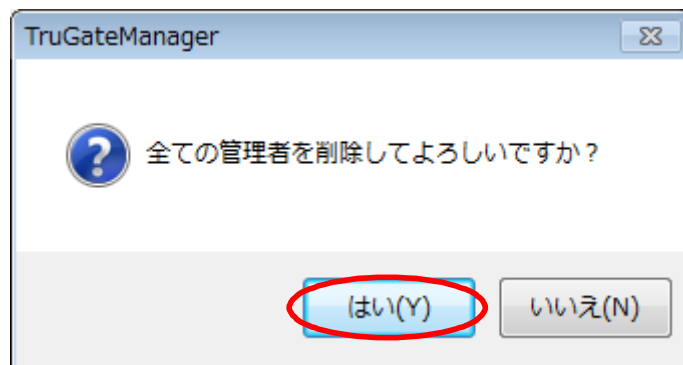


図 24 管理者全削除確認画面

リストから全ての管理者の削除に成功すると、下記に示す様なメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、全ての管理者の削除が完了します。「キャンセル」ボタンをクリックすると、削除を中止します。

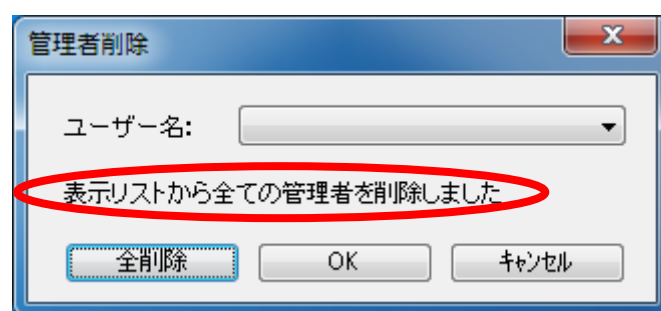


図 25 管理者削除画面 – リストから削除

iv. TruPass 環境設定

TruPass 環境設定では、TruPass マネージャーの、各機能の初期値を変更することができます。この設定値は、クライアント PC 上の TruPass マネージャーによる環境設定よりも優先されますので、クライアント PC で設定できる機能を制限することができます。メインメニュー中の「TruPass 環境設定...」ボタンをクリックすると、下記に示す画面が表示されます。

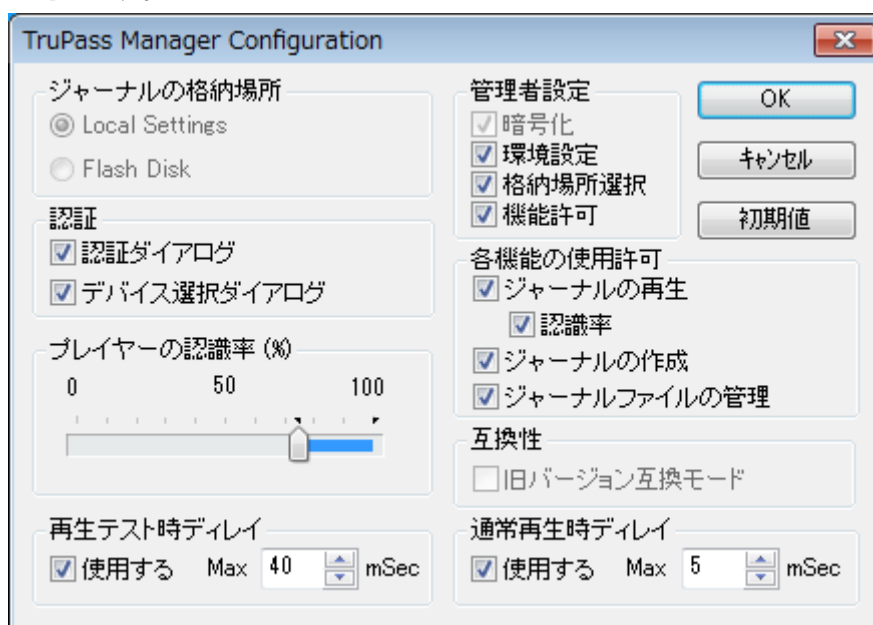


図 26 TruPass Manager Configuration 画面

1) ジャーナルの格納場所

作成及び使用するジャーナルの場所を選択します。

(a) Local Settings

ローカルハードディスク内のプロファイル領域に作成されます。

(b) Flash Disk

認証デバイスが一般 USB フラッシュメモリの場合、フラッシュディスク内に作成されます。

2) 認証

(a) 認証ダイアログ

ジャーナル再生時に認証を実施するか否かを設定します。

(b) デバイス選択ダイアログ

ジャーナル再生の認証時に、デバイス選択ダイアログを表示するか否かを設定します。

3) プレイヤーの認識率

ジャーナル再生対象のウィンドウにおいて、そのウィンドウタイトルが同種(タイトルの前半が同じ)の場合、認識率を下げる事によって、同種のウィンドウに対して、同一再生対象と判断する事が出来る様になります。

注) 認識率を下げると、ウィンドウの誤認識を起こしたり、その結果表示されてはいけないパスワード入力等が見えてしまう等、セキュリティレベルが低下する可能性がありますので、ご注意ください。

4) 再生テスト時ディレイ

ジャーナル作成の再生テスト時の速度を設定します。PC のパフォーマンスによっては、再生文字の欠落等を起こす場合があります。クライアント PC の処理能力に応じてこの値を増減してください。

5) 通常再生時ディレイ

実際にジャーナルが再生される時の速度を設定します。PC のパフォーマンスによっては、再生文字の欠落等を起こす場合があります。クライアント PC の処理能力に応じてこの値を増減してください。

6) 管理者設定

TruPass マネージャーの「環境設定」で、エンドユーザーに操作を許可する項目の選択を行います。

(a) 環境設定

環境設定自身の操作の可否を設定します。

(b) 格納場所選択

環境設定の「ジャーナルの格納場所」の操作の可否を設定します。

(c) 機能許可

環境設定の「各機能の使用許可」の操作の可否を設定します。

7) 各機能の使用許可

それぞれの機能の使用可否、及び環境設定によって変更できるかどうかの設定を行います。

(a) ジャーナルの再生

タスクトレイからの「ジャーナルの再生」の使用可否を設定します。

(i) 認識率

環境設定の「認識率」の操作の可否を設定します。

(b) ジャーナルの作成

タスクトレイからの「ジャーナルの作成」の使用可否を設定します。

(c) ジャーナルファイルの管理

タスクトレイからの「ジャーナルファイルの管理」の使用可否を設定します。

8) 互換性

Version 2.0 以前の TruPass と互換性のあるジャーナルフォーマットを使用するか否かを設定します。

注) Windows Vista 以降では、互換モードは使用できません。

v. TruPass ファイル管理

TruPass ファイル管理では、TruPass で利用するジャーナルファイルの削除やコピー等の管理を行うことができます。

メインメニュー中の「TruPass ファイル管理...」ボタンをクリックすると、下記に示す画面が表示されます。



図 27 TruPass Administrative File Manager 画面

1) 個別ファイルコピー**(a) Local Settings から Flash Disk へ**

Local Settings に表示されているジャーナル名を選択し、➡ ボタンをクリックすると Flash Disk へコピーされます。

(b) Flash Disk から Local Settings へ

Flash Disk に表示されているジャーナル名を選択し、⬅ ボタンをクリックすると Local Settings へコピーされます。

2) 全ファイルコピー**(a) Local Settings から Flash Disk へ**

Local Settings 側の「全てコピー」ボタンをクリックすると、下の確認のダイアログが表示されますので、ここで「はい」ボタンをクリックすると、全てのジャーナル

ファイルが Flash Disk へコピーされます。



図 28 ジャーナルファイルの全コピー確認画面 - 1

続けて別のユーザーの Flash Disk にコピーしたい場合は、コピーの完了した Flash Disk を交換し、上記操作を繰り返してください。

(b) Flash Disk から Local Settings へ

Flash Disk 側の「全てコピー」ボタンをクリックすると、下の確認のダイアログが表示されますので、ここで「はい」ボタンをクリックすると、全てのジャーナルファイルが Local Settings へコピーされます。



図 29 ジャーナルファイルの全コピー確認画面 - 2

3) 全ファイル削除

(a) Local Settings 側のジャーナル全削除

Local Settings 側の「全て削除」ボタンをクリックすると、下の確認のダイアログが表示されますので、ここで「はい」ボタンをクリックすると、Local Settings 側の全てのジャーナルファイルが削除されます。

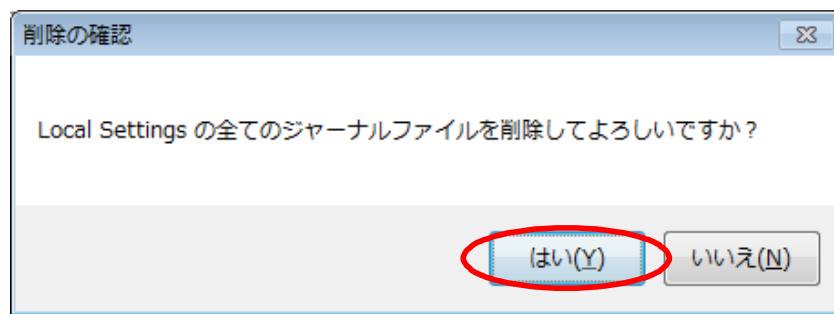


図 30 ジャーナルファイルの全削除確認画面 - 1

(b) Flash Disk 側のジャーナル全削除

Flash Disk 側の「全て削除」ボタンをクリックすると、下の確認のダイアログが表示されますので、ここで「はい」ボタンをクリックすると、Flash Disk 側の全てのジャーナルファイルが削除されます。

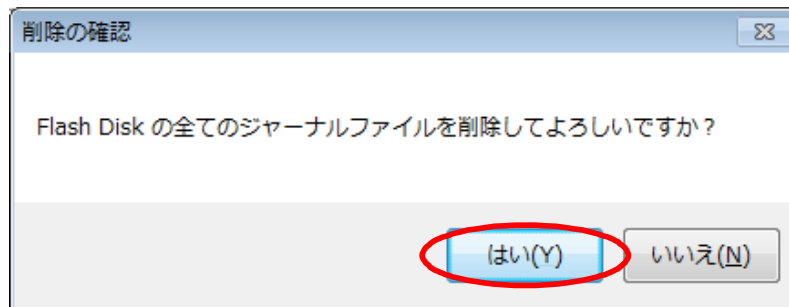


図 31 ジャーナルファイルの全削除確認画面 - 2

続けて別のユーザーの Flash Disk のジャーナルファイルを削除したい場合は、削除の完了した Flash Disk を交換し、上記操作を繰り返してください。

4) 個別ファイル削除**(a) Local Settings 側のジャーナル個別削除**

Local Settings に表示されているジャーナル名を選択し、ダブルクリックするとそのジャーナルファイルが削除されます。

(b) Flash Disk 側のジャーナル個別削除

Flash Disk に表示されているジャーナル名を選択し、ダブルクリックするとそのジャーナルファイルが削除されます。

5) ジャーナル編集**(a) Local Settings 側のジャーナル編集**

Local Settings に表示されているジャーナル名を選択し、右クリックすると次に示す編集画面が表示されます。

(b) Flash Disk 側のジャーナル編集

Flash Disk に表示されているジャーナル名を選択し、右クリックすると次に示す

編集画面が表示されます。

(c) ジャーナルのフィールド構成

編集画面に表示されるジャーナルのフィールド構成を下記に示します。フィールドは半角スペースで区切られます。連なるキー入力イベントは、文字列に変換して表示されます。

第 1 フィールド: イベントタイプ識別子

第 2 フィールド: イベント記述子

第 3 フィールド: マウスポジション(X)もしくは仮想キーコード

第 4 フィールド: マウスポジション(Y)もしくはキースキャンコード

第 5 フィールド: マウスデータもしくはキー入力時間値

第 6 フィールド: マウス時間値もしくはキー拡張情報

第 7 フィールド: マウス拡張情報 (INPUT_MOUSE イベントタイプのみ)

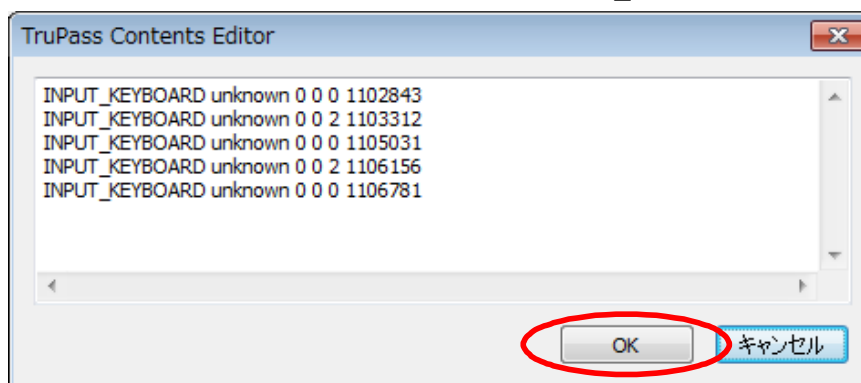


図 32 ジャーナルファイルの編集画面

編集画面中のペインにおいて、必要に応じて不要なマウス操作 (例: 同一ポジションを示す MOUSEEVENTF_MOVE) の削除、ユーザー名やパスワード等の文字列の編集を行ってください。編集結果を保存する場合は「OK」ボタンをクリックしてください。上書き保存されます。「キャンセル」ボタンをクリックした場合、編集した内容は破棄されます。

注) 指定可能な文字列は、半角英数記号だけです。不正な文字列が指定された場合の動作は保証しません。また、ジャーナル再生中における「ローマ字→漢字」変換後の文字列は、実行している OS の漢字変換プログラムの設定に依存します。

vi. パスワードの消去

パスワードの消去では、TruGate で Windows へログオンする際に使用されるパスワードの消去を行います。

注) パスワードの消去では、Windows OS のパスワードを消去しません。

メインメニュー中の「パスワードの消去...」ボタンをクリックすると、下記に示す画面が表示されます。画面が表示されたら、ユーザーID をユーザー名エディットボックスに入力し、「消去」ボタンをクリックしてください。

注) TruGate 併用時に、ドメイン、ワークグループ双方にパスワードを設定している場合は、ドメイン名リストボックスを用いて、消去したい対象を指定してください。

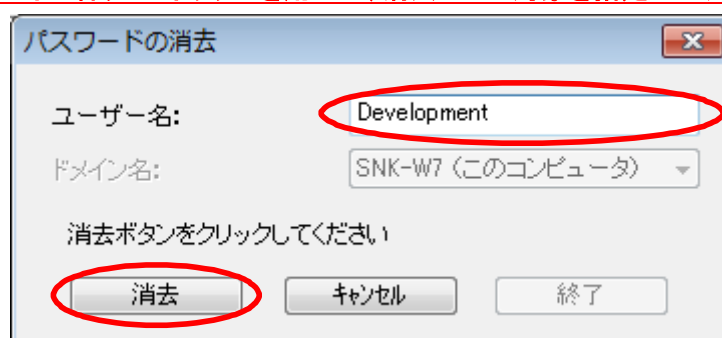


図 33 パスワードの消去画面

消去が完了すると、下記に示すようなメッセージが表示されます。

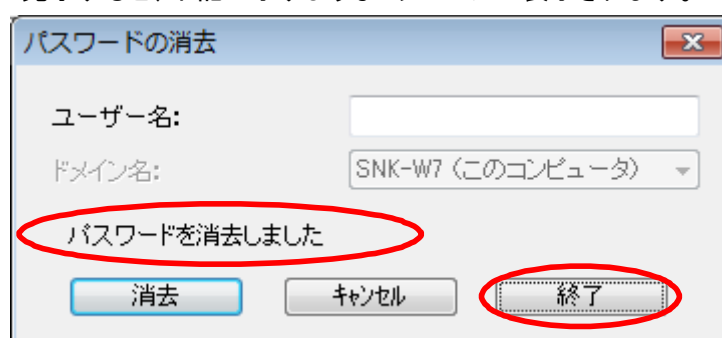


図 34 パスワードの消去画面 - 終了

続けて別のユーザーのパスワードを消去したい場合は、上記操作を繰り返してください。
終了する場合は、「終了」ボタンをクリックし、メインメニューに戻ります。

vii. パスワード一括設定

パスワード一括設定では、所定のフォーマットの CSV ファイルを予め用意する事により、パスワードの設定作業を一括して行う事ができます。

1) CSV ファイルのフィールド構成

CSV ファイルのフィールド構成を下記に示します。また、フィールド名のタイトル行は不要です。

- 第 1 フィールド: 通し番号、整理番号等の為の数字(表示用。内容は任意だがフィールドが存在すること)
- 第 2 フィールド: Windows のユーザーID(必須)
- 第 3 フィールド: Windows のパスワード(必須)
- 第 4 フィールド: ユーザー情報、名前等のそのユーザーに関する情報(表示用。内容は任意)
- 第 5 フィールド: ドメイン名もしくはローカル PC 名(存在しない場合はローカル PC 名が充当される)

第 6 フィールド以降: 無視

注) パスワード一括設定では、CSV ファイルの第 5 フィールドの内容に従って、パスワードの設定対象が決定されます。

メインメニュー中の「パスワード一括設定...」ボタンをクリックすると、下記に示す画面が表示されます。「ファイルを開く」画面が表示されたら、設定する CSV ファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。

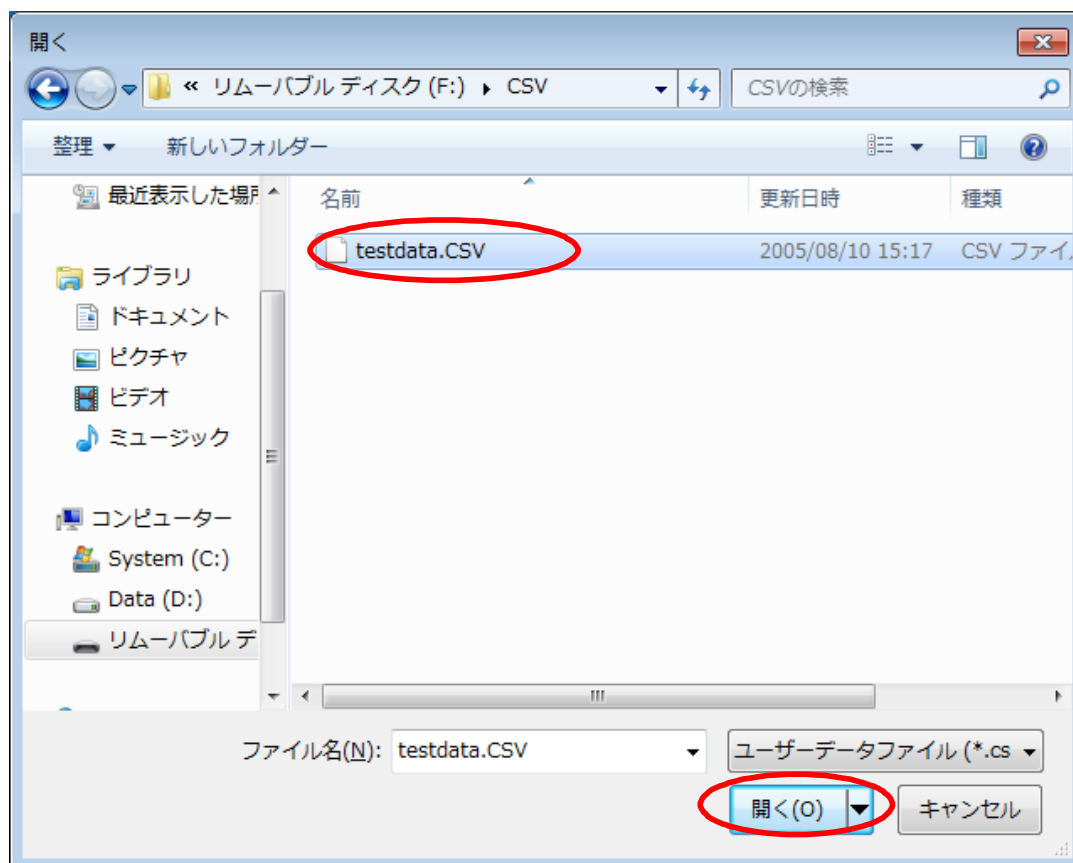


図 35 CSV ファイルの選択画面

CSV ファイルが正常に読み込まれると、下記に示すような画面が表示されます。「パスワードの設定」ボタンをクリックすると、パスワードの登録が行われます。

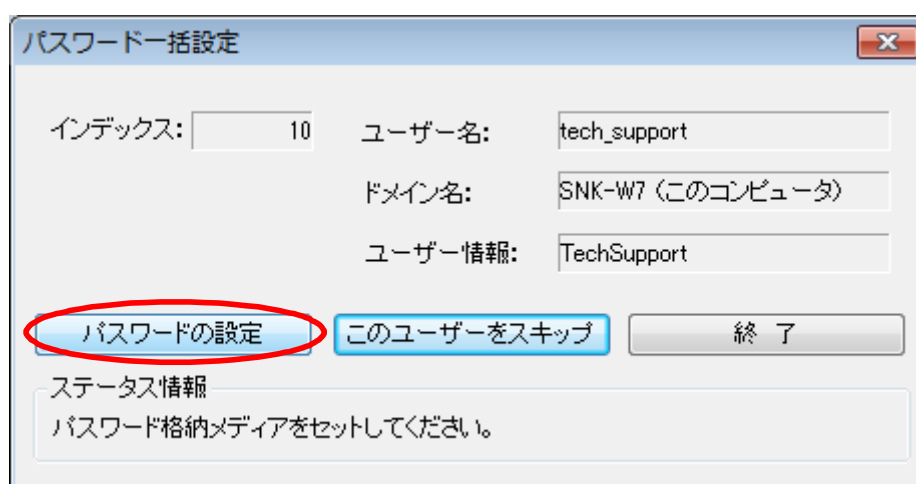


図 36 パスワードの一括設定画面

正常にパスワードの設定が完了すると、下記に示すように、次のユーザー情報が表示されますので、上記操作を繰り返してください。

また、表示されているユーザーの設定をスキップしたい場合は、「このユーザーをスキップ」ボタンをクリックしてください。設定をせずに、次のユーザー情報が表示されます。

終了する場合は、「終了」ボタンをクリックし、メインメニューに戻ります。

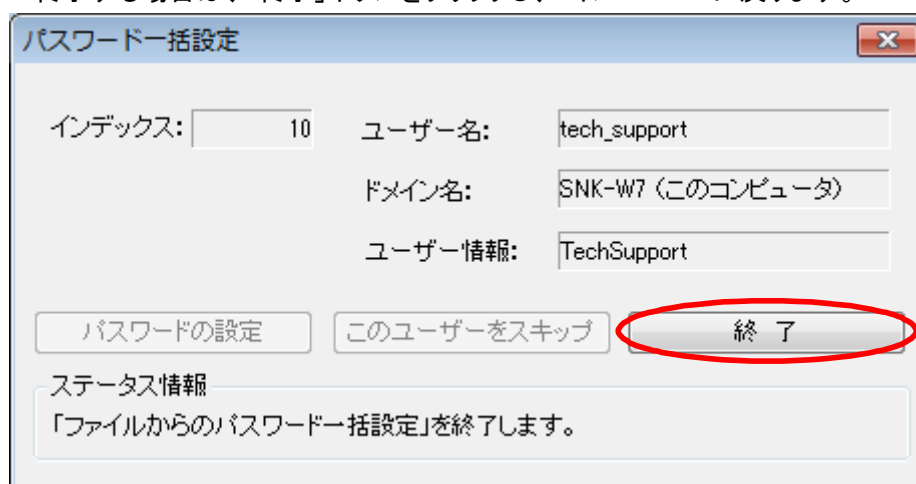


図 37 パスワードの一括設定画面 - 終了

viii. 証明書と秘密鍵の消去

証明書と秘密鍵の消去では、TruCSP で使用される、証明書、並びに秘密鍵の消去を行います。

メインメニュー中の「証明書と秘密鍵の消去...」ボタンをクリックすると、下記に示す画面が表示されます。画面が表示されたら、ユーザーID をユーザー名エディットボックスに入力し、「消去」ボタンをクリックしてください。

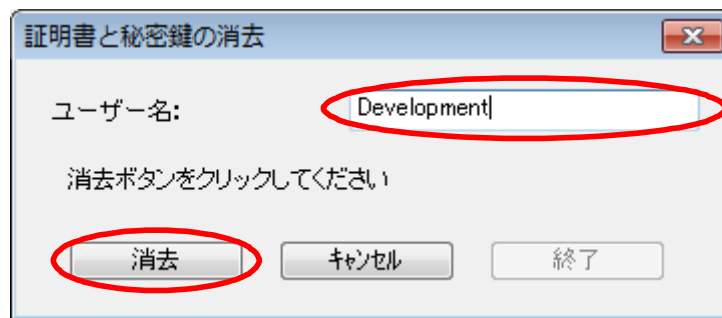


図 38 証明書と秘密鍵の消去画面

消去が完了すると、下記に示すようなメッセージが表示されます。

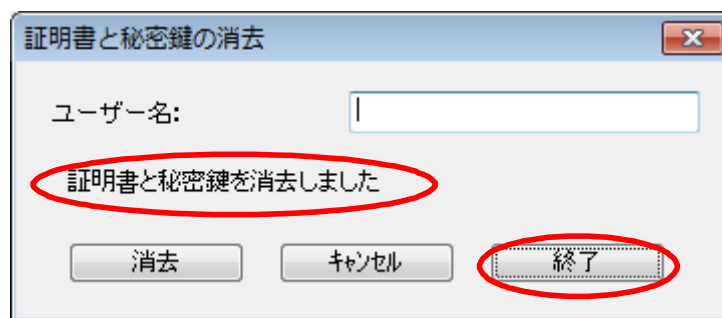


図 39 証明書と秘密鍵の消去画面 — 終了

続けて別のユーザーの証明書と秘密鍵を消去したい場合は、上記操作を繰り返してください。

終了する場合は、「終了」ボタンをクリックし、メインメニューに戻ります。

ix. Well Known User 登録

Well Known User 登録では、TruGate で用いられる Well Known User を追加登録することができます。

メインメニュー中の「Well Known User 登録...」ボタンをクリックすると、下記に示す画面が表示されます。Well Known User として追加登録したいユーザー名を入力した後、「OK」ボタンをクリックします。



図 40 Well Known User 追加登録画面

正常に Well Known User が追加登録されると、メインメニューに戻った際、ステータス情報欄に「Well Known User を追加登録しました」と表示されます。

x. **Well Known User 削除**

Well Known User 削除では、TruGate で用いられる既存 Well Known User を削除することができます。

メインメニュー中の「Well Known User 削除...」ボタンをクリックすると、下記に示す画面が表示されます。

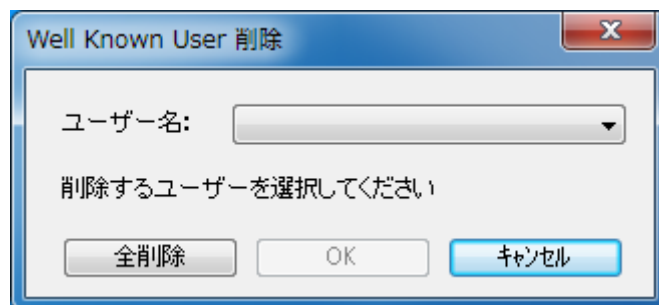


図 41 Well Known User 削除画面

個別に削除したい場合は、ユーザー名ドロップダウンリストより、削除したい Well Known User を選択します。

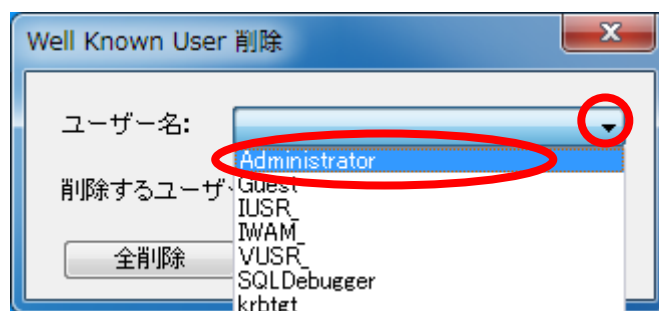


図 42 Well Known User 削除画面 - リストから選択

削除したい Well Known User を選択したら、「削除」ボタンをクリックしてください。

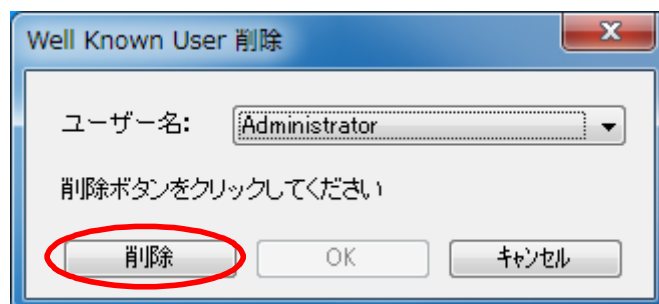


図 43 Well Known User 削除画面 - 削除

リストから Well Known User の削除に成功すると、下記に示す様なメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、削除が完了します。「キャンセル」ボタンをクリックすると、削除を中止します。

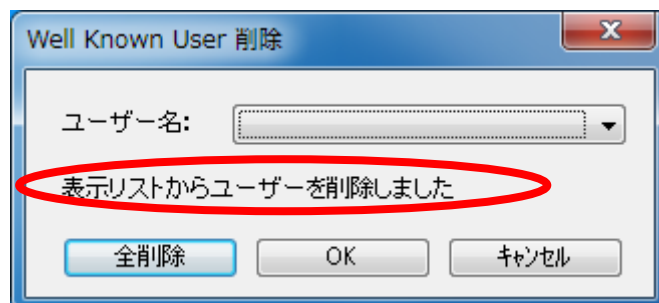


図 44 Well Known User 削除画面 – リストから削除

全ての Well Known User を削除したいときは、「全削除」ボタンをクリックしてください。

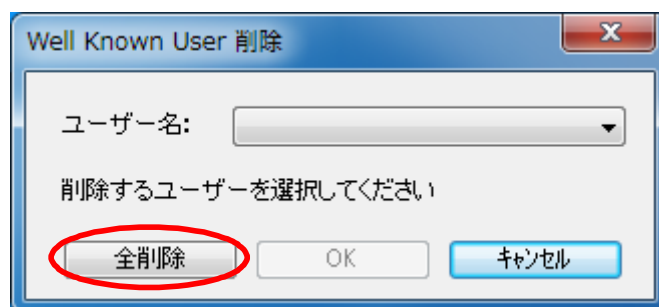


図 45 Well Known User 削除画面 – 全削除

全削除の場合は、下記に示す確認ダイアログが表示されます。全ての Well Known User を削除してよい場合のみ、「はい」ボタンをクリックしてください。

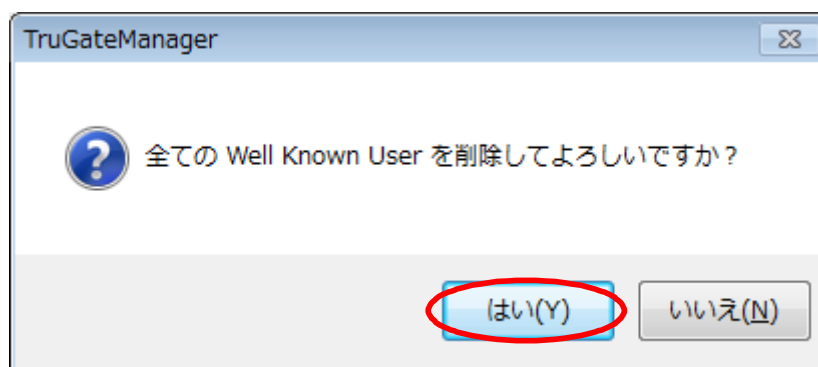


図 46 Well Known User 全削除確認画面

リストから全ての Well Known User の削除に成功すると、下記に示す様なメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、全ての Well Known User の削除が完了します。「キャンセル」ボタンをクリックすると、削除を中止します。

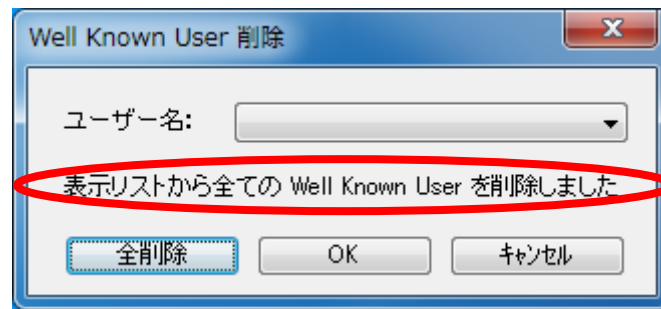


図 47 Well Known User 削除画面 – リストから削除

xi. 製品登録

製品登録を行う場合は、メインメニュー中の「製品登録...」ボタンをクリックしてください。「製品登録」ダイアログが表示されたら、別途入手したプロダクトキーをエディットボックスに入力した後、「OK」ボタンをクリックしてください。「キャンセル」ボタンをクリックすると、製品登録を中止します。

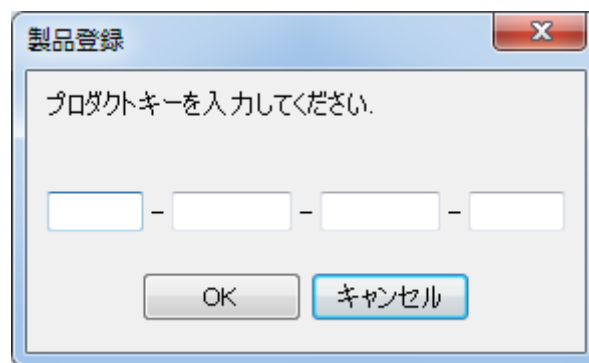


図 48 製品登録画面

プロダクトキーの認証に成功し、製品登録が正常終了すると、メインメニュー中の「製品登録...」ボタンが消えます。

xii. 設定ファイルのエクスポート

ボリュームライセンス版には、設定ファイルのエクスポート機能があります。

設定ファイルのエクスポートを行う場合は、メインメニュー中の「エクスポート...」ボタンをクリックしてください。

「名前を付けて保存」ダイアログが表示されたら、エクスポートしたいファイルの場所を指定し、「ファイルの種類」ドロップダウンリストで「ポリシー テンプレート」か「レジストリファイル」を選んで、ファイル名コンボボックスに任意のエクスポートファイル名を入力した後、「保存」ボタンをクリックしてください。「キャンセル」ボタンをクリックすると、エクスポートを中止します。

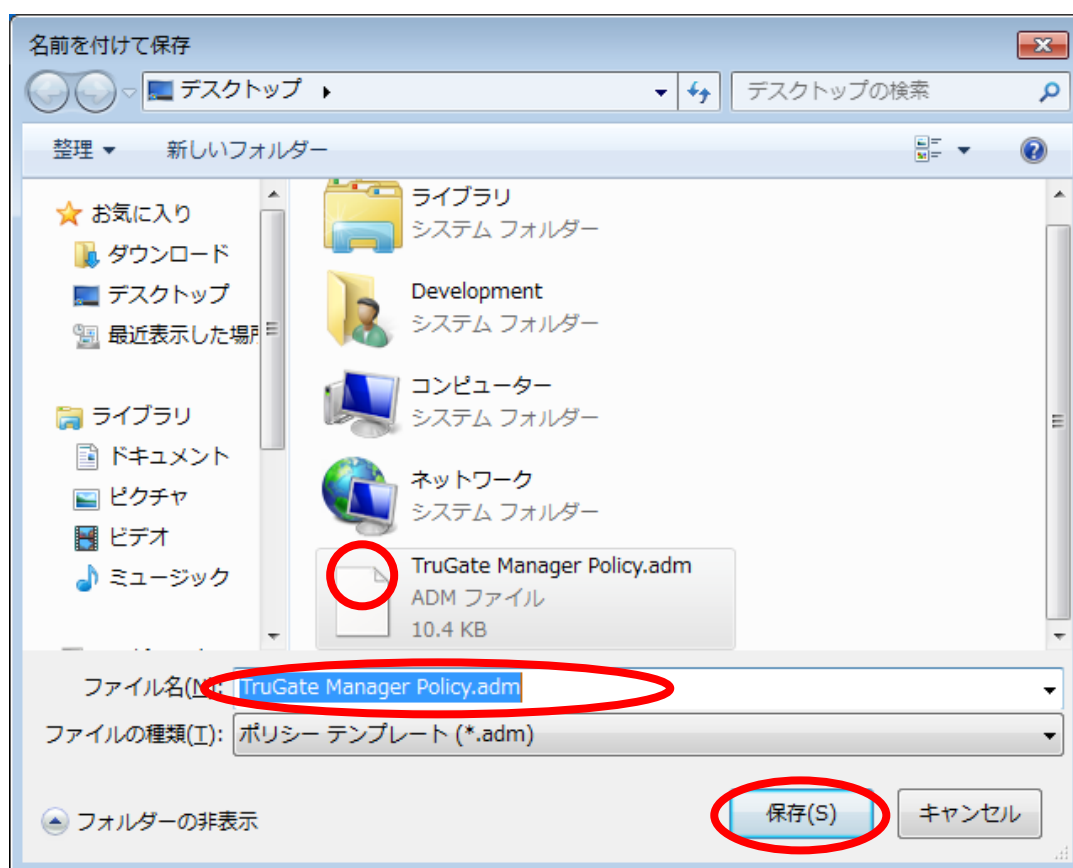


図 49 設定ファイルのエクスポート画面

正常にエクスポートされた場合、下記に示す様な「エクスポートの終了」ダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。

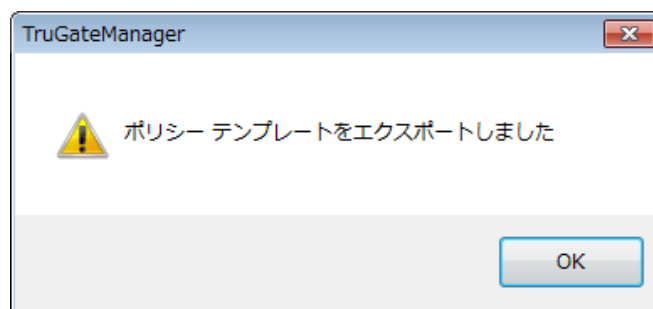


図 50 エクスポートの終了画面

xiii. 終了

メインメニューの「OK」ボタンをクリックすると、TruGate Manager を終了します。

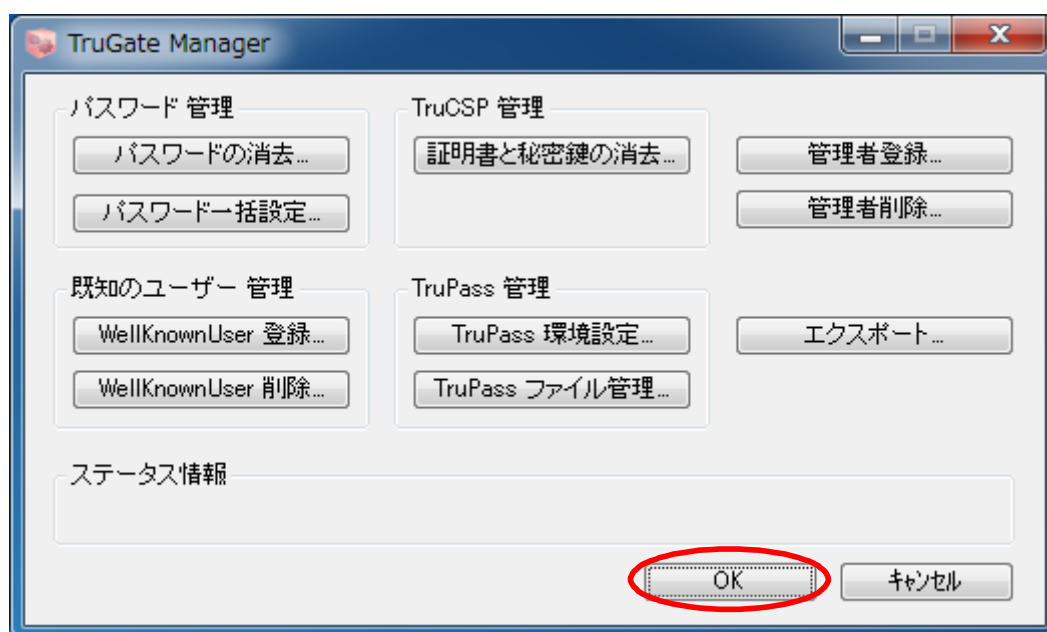


図 51 TruGate Manager の終了画面

7. 運用のヒント

a. ジャーナルファイルの配布

TruPass マネージャーの環境設定において、ジャーナルの格納場所を Local Settings に設定した場合、ジャーナルファイルは、下記に示すユーザープロファイル下のフォルダ内に、エンコードされたファイル名で、且つシステム属性を持つ隠しファイルとして生成されます（1ジャーナル1ファイル）。

Local Settings¥Application Data¥TruStack¥TP¥Cache (XP の場合)

AppData¥Local¥TruStack¥TP¥Cache (Windows 7 以降の場合)

管理者用クライアント PC にて生成された、このジャーナルファイルを、管理ツール等で各ユーザーに配布することで、一括してジャーナルファイルを配布する事ができます。

b. 環境設定値の配布

ボリュームライセンス版 TruGate Manager のエクスポート機能を用い、管理者用クライアント PC にて生成されたレジストリファイルを、各クライアント PC に管理ツール等で配布する事で、各ユーザーへの TruPass マネージャーの機能制限を一括して設定できます。

c. Well Known User リストの配布

ボリュームライセンス版 TruGate Manager のエクスポート機能を用い、管理者用クライアント PC にて生成されたレジストリファイルを、各クライアント PC に管理ツール等で配布する事で、Well Known User リストを含む TruGate の設定を一括して行う事ができます。

8. ポリシーテンプレートを利用した配布例

注) 下記アプリケーションの操作は、ドメインの管理者権限でログインして行ってください。

a. 配布用グループポリシーオブジェクトの作成

グループポリシーオブジェクトを作成し、配布する対象のクライアント PC が格納されている Active Directory コンテナにリンクします。

i. Active Directory ユーザーとコンピュータの起動

Active Directory Server で、「スタート」―「Windows 管理ツール」―「Active Directory ユーザーとコンピュータ」の順にクリックします。

正常に起動されると、下記に示す「Active Directory ユーザーとコンピュータ」コンソールが表示されます。

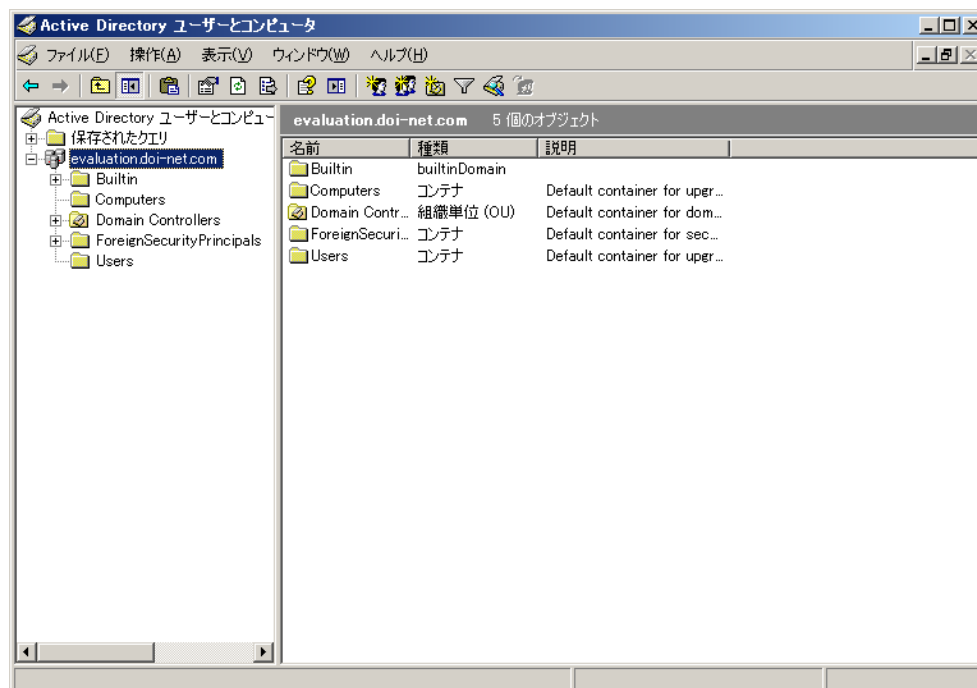


図 52 Active Directory ユーザーとコンピュータ ― 起動画面

ii. OU の新規作成

「Active Directory ユーザーとコンピュータ」コンソールが表示されたら、左側ペインの配布対象ドメインの上でマウスを右クリックし、「新規作成」―「組織単位 (OU)」を選択します。

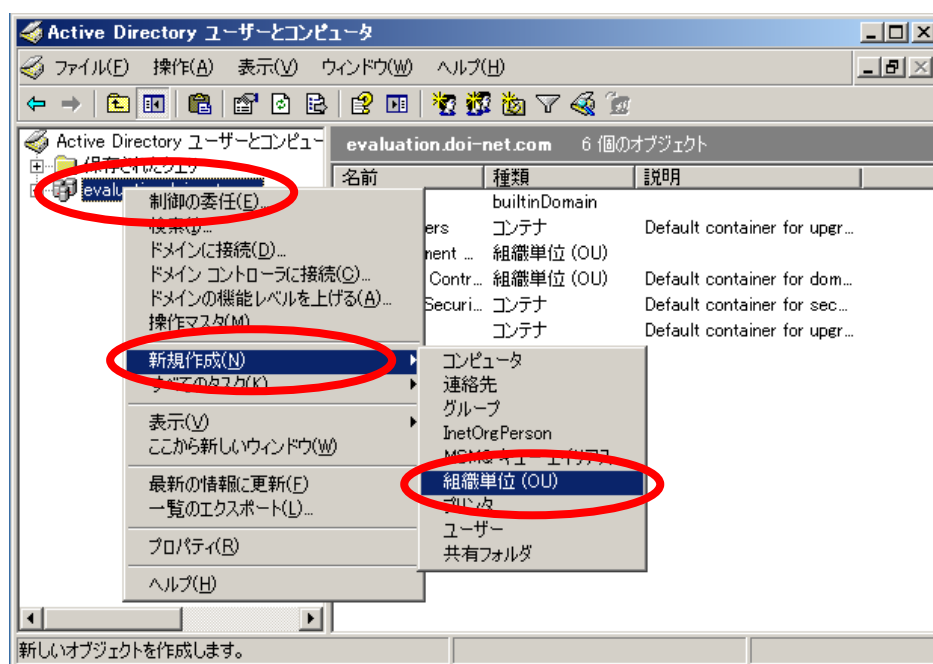


図 53 Active Directory ユーザーとコンピュータ – OU の新規作成

「新しいオブジェクト – 組織単位 (OU)」画面が表示されたら、任意の OU 名を入力します。

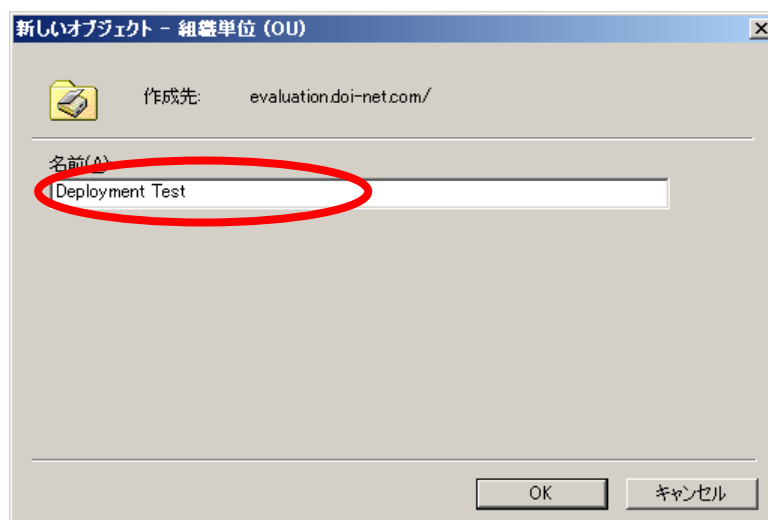


図 54 OU の作成

iii. 配布対象クライアント PC の登録

「Active Directory ユーザーとコンピュータ」コンソールに戻ったら、左側ペインに作成された OU を選択し、右側ペインに配布対象クライアント PC を登録します。登録が終了したら「Active Directory ユーザーとコンピュータ」を終了します。

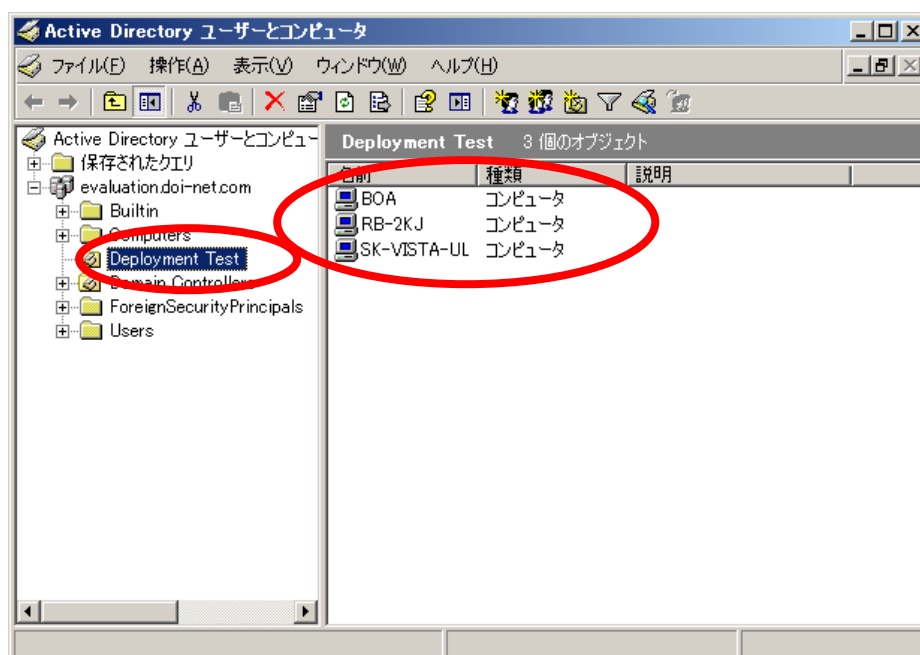


図 55 Active Directory ユーザーとコンピュータ — 新規 OU へ配布対象 PC を登録

iv. グループポリシーオブジェクトの新規作成

次に、デスクトップから、「スタート」—「Windows 管理ツール」—「グループポリシーの管理」の順にクリックします。

「グループポリシーの管理」コンソールが表示されたら、先に新規作成した OU 上でマウスを右クリックし、「このドメインに GPO を作成し、このコンテナにリンクする」を選択します。

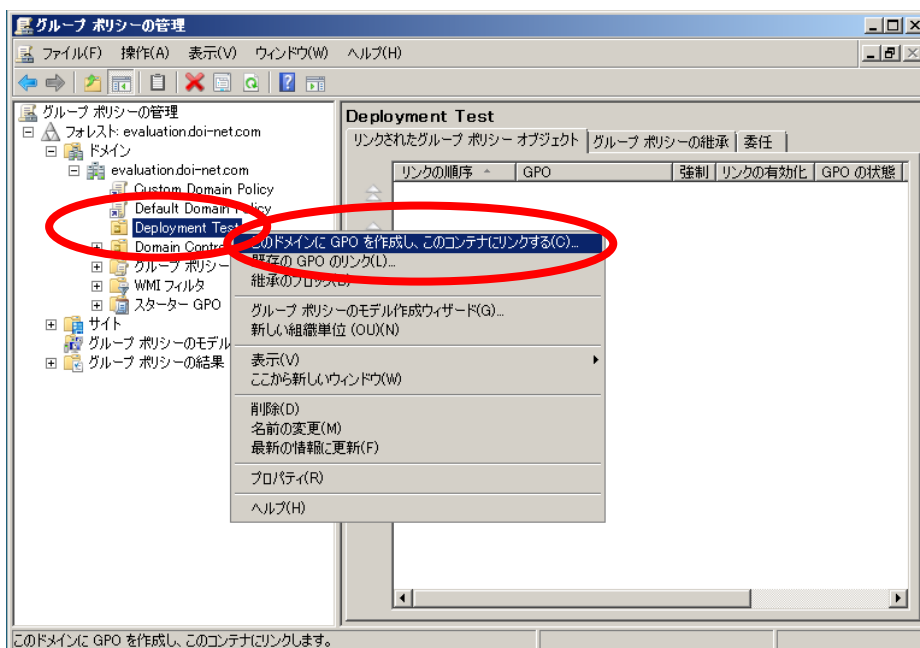


図 56 グループポリシーの管理 — GPO の新規作成

「新しい GPO」ダイアログボックスが表示されたら、名前エディットボックスに任意のポリシー名を入力した後、「OK」ボタンをクリックします。

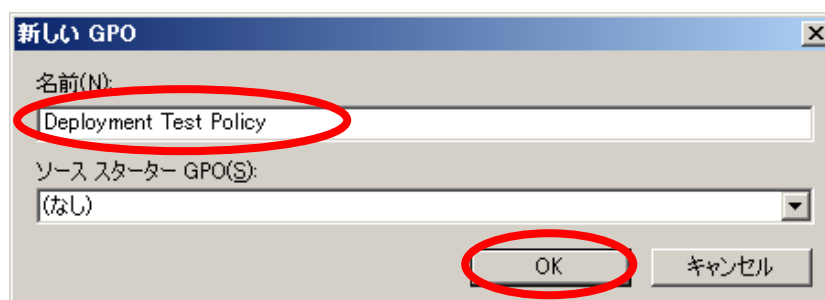


図 57 新しい GPO — 名前の指定

「グループポリシーの管理」コンソールに戻ったら、新規に作成したポリシー上でマウスを右クリックし、「編集」を選択します。

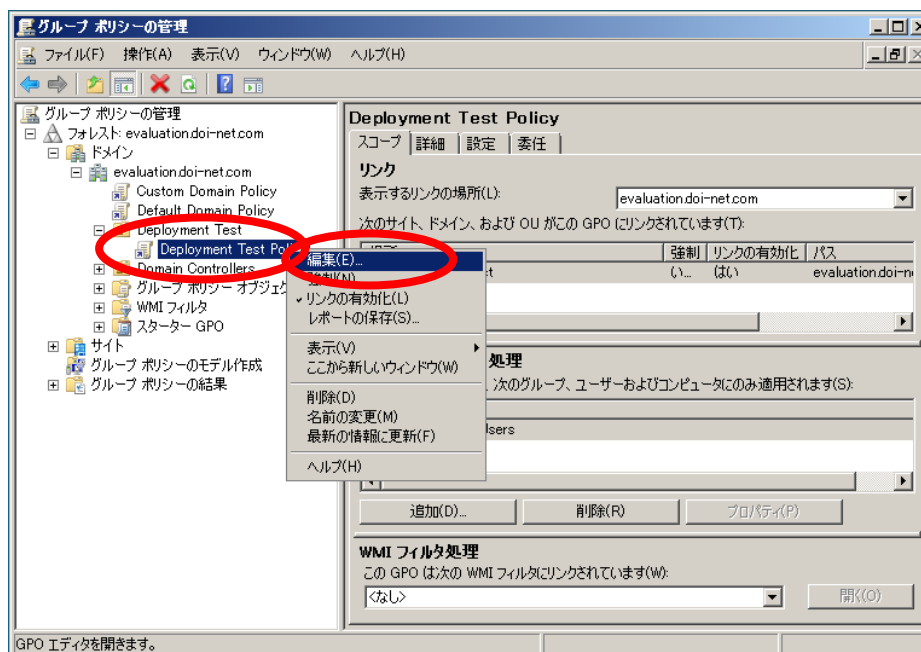


図 58 グループポリシーの管理 — ポリシーの編集

b. 配布用グループポリシーの作成

グループポリシーオブジェクトを作成したら、配布用のグループポリシーを作成します。

i. テンプレートの設定

1) テンプレートの追加

グループポリシーオブジェクトの作成が終了したら、管理用テンプレートをインポートします。まず、TruGate Manager のエクスポート機能を用いて作成した ADM ファイルを Active Directory Server の <OS フォルダ名>\inf フォルダにコピーした後、「グ

「グループポリシー管理エディタ」コンソールにおいて、左側ペインの「管理用テンプレート」の上でマウスを右クリックし、「テンプレートの追加と削除」を選択します。

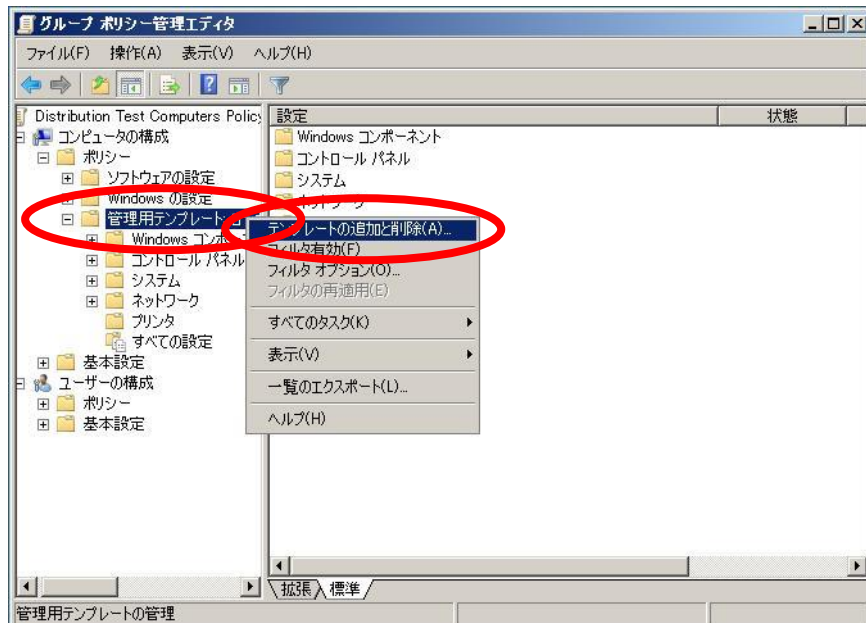


図 59 グループポリシー管理エディタ – テンプレートの追加

「テンプレートの追加と削除」画面が表示されたら、「追加」ボタンをクリックします。

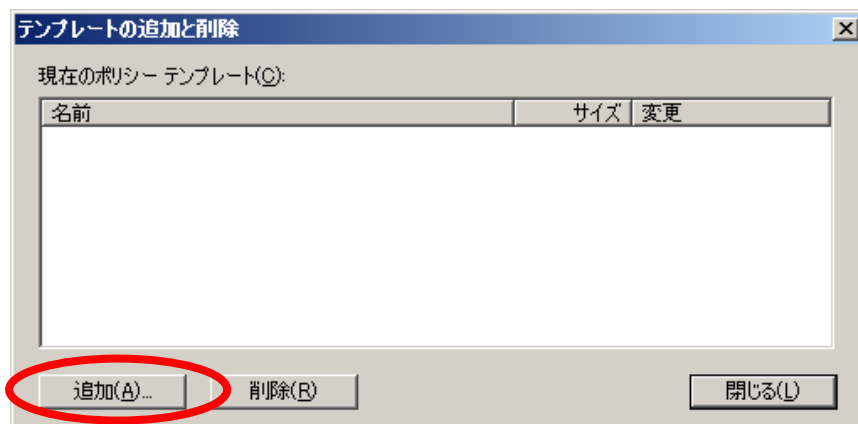


図 60 テンプレートの追加と削除 – 起動画面

「ポリシー テンプレート」画面が表示されたら、先にコピーした ADM ファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックしてください。

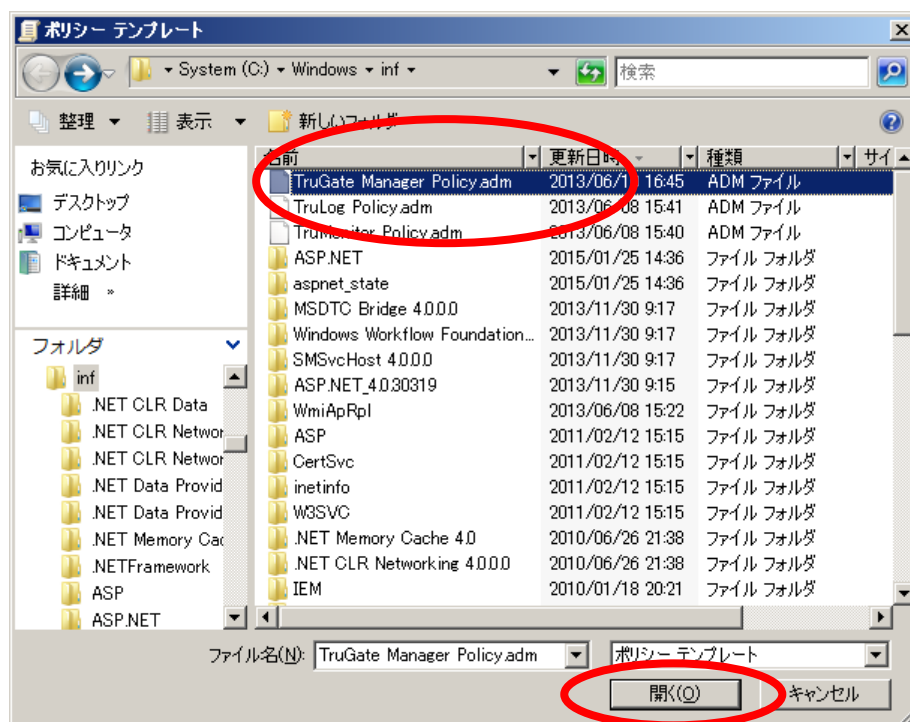


図 61 ポリシーテンプレートの選択

テンプレートの追加が終了したら、「テンプレートの追加と削除」画面の「閉じる」ボタンをクリックします。

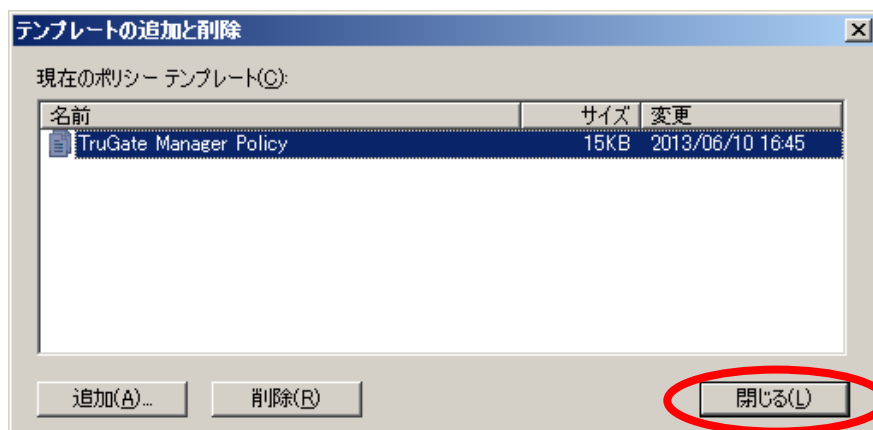


図 62 テンプレートの追加と削除 - テンプレートの追加

2) テンプレートの設定

「グループポリシー管理エディタ」コンソールに戻ったら、左側ペインで「管理用テンプレート」→「従来の管理用テンプレート」→「TruStack」→「TruGate Manager ver.x.x.x」の順にクリックし、右側ペインの「TruGate」をダブルクリックします。

注) テンプレートによる設定は、ユーザーによる設定をオーバーライドします。クライアント PC の設定情報を一括変更する必要がある場合などにご利用ください。

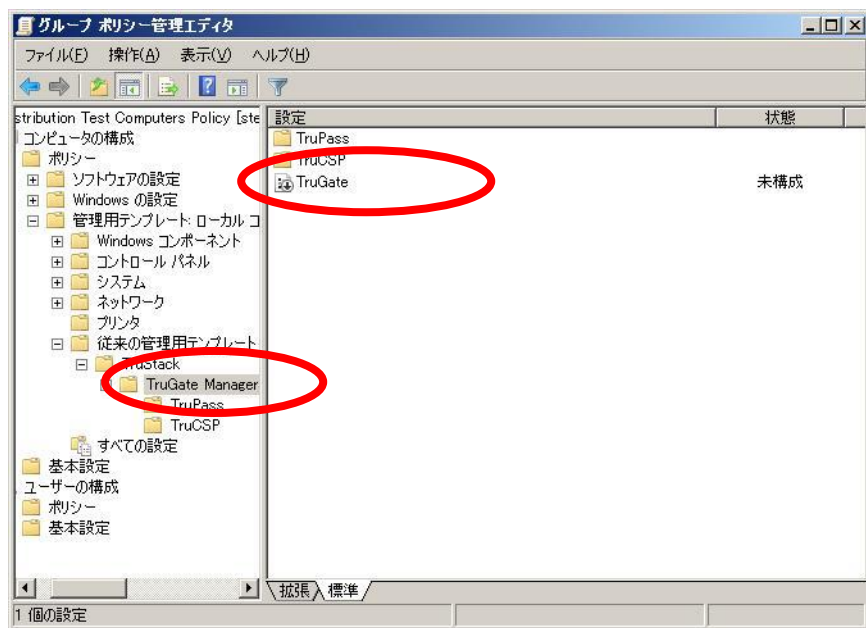


図 63 グループポリシー管理エディタ — TruGate の設定

「TruGate のプロパティ」画面が表示されたら、「有効」ラジオボタンをクリックし、下ペインに設定情報を入力します。通常は、設定情報を変更する必要はありません。

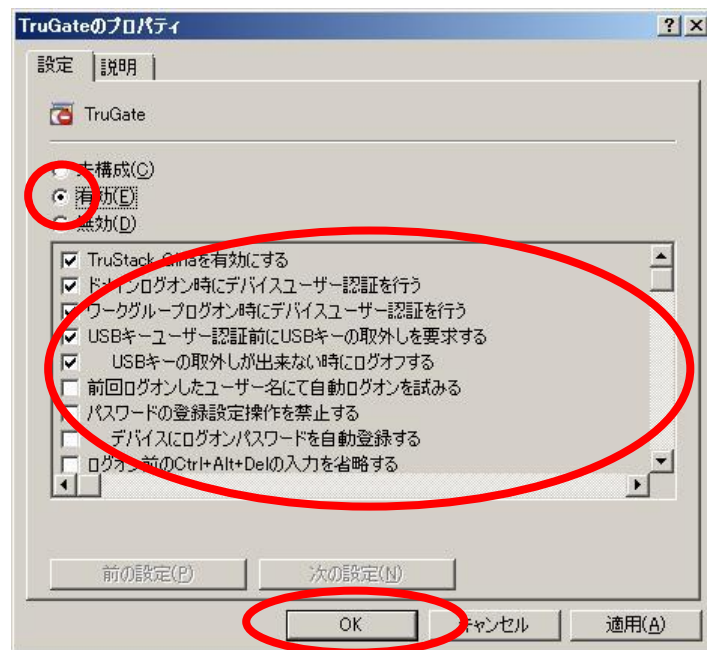


図 64 TruGate のプロパティ

(a) ドメインログオン時にユーザー認証を行う

「TruStack Gina を有効」がチェックされている場合に、本機能は有効です。本チェックボックスがチェックされていると、ドメインにログオンする際やワークステーションのロックを解除する際に、デバイス認証を伴うユーザー認証が実施されま

す。

(b) ワークグループログオン時にユーザー認証を行う

「TruStack Gina を有効」がチェックされている場合に、本機能は有効です。本チェックボックスがチェックされていると、ワークグループにログオンする際やワークステーションのロックを解除する際に、デバイス認証を伴うユーザー認証が実施されます。

(c) 認証前に Flash の取外しを要求する

「TruStack Gina を有効」がチェックされている場合に、本機能は有効です。本チェックボックスがチェックされていると、認証デバイスが Flash の場合、ログオンする際やワークステーションのロックを解除する際のデバイス認証を伴うユーザー認証前に、Flash の自動取り外しを試行します。取り外しを行うことによって、Flash の再挿入と再認証がユーザーに要求されます。

注) Windows Vista 以降では、TruLog Service Ver.5.0.0 以降がインストールされ、且つ当該サービスが起動されている時のみ、本機能は有効です。

(i) Flash の取外しが出来ない時はログオフする

「TruStack Gina を有効」並びに「認証前に Flash の取外しを要求する」の双方がチェックされている場合に、本機能は有効です。本チェックボックスがチェックされていると、「認証前に Flash の取外しを要求する」に従って Flash の取り外しが試行された際、Flash の取り外しができなかった場合に Windows ログオフを実行します。

(d) 前回ログオンしたユーザー名にて自動ログオンを試みる

「TruStack Gina を有効」がチェックされている場合に、本機能は有効です。本チェックボックスがチェックされていると、ログオンする際、前回ログオンしたユーザー名にてログオンを試行します。

(e) パスワードの登録設定操作を禁止する

「TruStack Gina を有効」がチェックされている場合に、本機能は有効です。本チェックボックスがチェックされていると、下記に示す「ログオンパスワードを自動登録する」チェックボックスに対するチェック/アンチェック操作が禁止されます。

(i) ログオンパスワードを自動登録する

「TruStack Gina を有効」がチェックされている場合に、本機能は有効です。本チェックボックスがチェックされていると、ログオンする際、データベースにパスワードが自動的に登録されます。TruGate 設定ユーティリティを用いてパスワードを登録しない場合に、本機能を使用します。パスワードが登録されていた時は、登録済みユーザー名が同じ場合のみ、再登録ができます。本機能によりパスワードの登録が終了したら、本チェックボックスは速やかにアンチェックしてください。

(f) ログオン前の Ctrl+Alt+Del の入力を省略する

「TruStack Gina を有効」がチェックされている場合に、本機能は有効です。本チェックボックスがチェックされていると、OS の「ユーザーアカウント設定」の「セキュリティで保護されたログオン」が有効になっていても、Windows ログオン画面が表示される前の Ctrl+Alt+Del キーの入力要求が省略されます。

(g) ログオン後に Ctrl+Alt+Del が押された時の動作

「TruStack Gina を有効」がチェックされている場合に、本機能は有効です。Ctrl+Alt+Del キーが押されたときに OS が実施する動作をドロップダウンリストから選択します。通常は「既定」のままとしてください。

(h) 製品登録キー

別途入手した、ボリュームライセンス版 TruGate のプロダクトキーをハイフン(ー)無しで、エディットボックスに入力します。

(i) ODBC を使用する

TruGate に組み込まれている規定のデータベース以外のデータベースを使用する場合、本チェックボックスをチェックしてください。

(i) データソース名

「ODBC を使用する」がチェックされている場合に、本機能は有効です。ODBC データソース名を入力します。

(ii) ユーザー名

「ODBC を使用する」がチェックされている場合に、本機能は有効です。上記 ODBC データソースで指定したデータベースサービスに接続するユーザー名を入力します。

(iii) パスワード

「ODBC を使用する」がチェックされている場合に、本機能は有効です。上記 ODBC データソースで指定したデータベースサービスに接続するパスワードを入力します。通常は、そのままご利用ください。

(j) ローカルデータベースを使用する

ODBC を使用し、且つオフライン時にキャッシュしたデータを利用して認証を許可する場合、本チェックボックスをチェックしてください。

(i) データベースファイル名

サーバー等にデータベースファイルを設置してそれを共有する場合、データベースファイル名の完全 UNC パスをエディットボックスに入力します。たとえば、\\file server\share\file name.db と入力します。

注) データベースファイルを共有する場合は、OU のみが Read/Write できるように注意してファイルへのアクセス権を設定してください。データベースファイルを共有する代わりに、ODBC の使用を推奨します。

設定が終了したら「OK」ボタンをクリックします。

「グループポリシー管理エディタ」コンソールに戻ったら、右側ペインの「TruGate Plugin」をダブルクリックします。

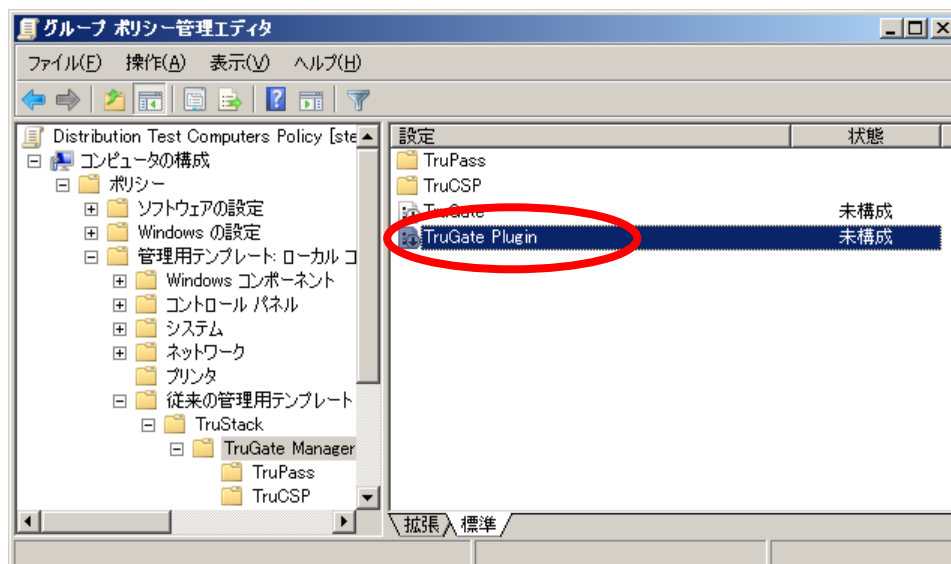


図 65 グループポリシー管理エディタ — TruGate Plugin の設定

「TruGate Plugin のプロパティ」画面が表示されたら、「有効」ラジオボタンをクリックし、下ペインに設定情報を入力します。通常は、設定情報を変更する必要はありません。

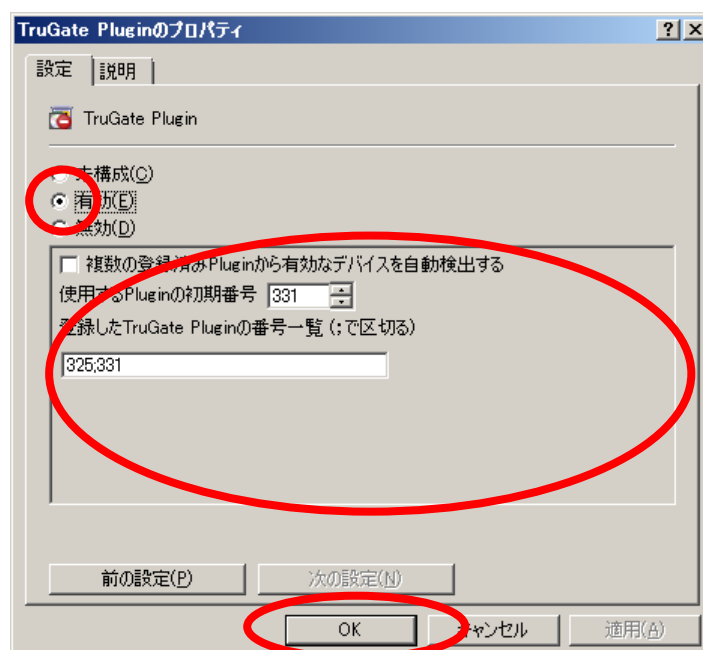


図 66 TruGate Plugin のプロパティ

(k) 複数の登録済み Plugin から有効なデバイスを自動検出する

本チェックボックスがチェックされていると、下記に示す「登録した TruGate Plugin の番号一覧」の最初にリストアップされているデバイスが、デバイス認証時に自動的に使用されます。もし、そのデバイスが利用不可であった場合、次に列挙されたデバイスが自動的に使用されます。

(l) 使用する Plugin の初期番号

デバイス認証時に使用される初期デバイスの Plugin 番号を指定します。指定する Plugin 番号は、下記に示す「登録した TruGate Plugin の番号一覧」に掲載されているものに含まれている必要があります。

(m) 登録した TruGate Plugin の番号一覧

管理者用クライアント PC にインストールされた TruGate 用 Plugin の Plugin 番号の一覧を示します。

「グループポリシー管理エディタ」コンソールに戻ったら、左側ペインで「管理用テンプレート」→「従来の管理用テンプレート」→「TruStack」→「TruGate Manager ver.x.x.x」→「TruPass」の順にクリックし、右側ペインの「管理者設定」をダブルクリックします。

注) テンプレートによる設定は、ユーザーによる設定をオーバーライドします。クライアント PC の設定情報を一括変更する必要がある場合などにご利用ください。

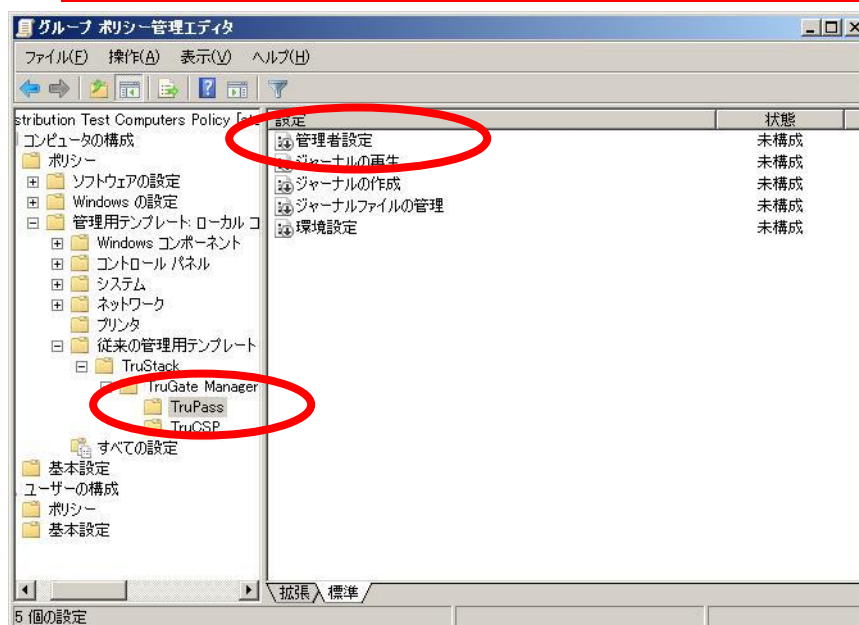


図 67 グループポリシー管理エディタ — TruPass の設定

「管理者設定のプロパティ」画面が表示されたら、「有効」ラジオボタンをクリックし、下ペインに設定情報を入力します。設定情報につきましては、前述の TruPass 環境設定の項をご参照ください。製品登録キーの項は、別途入手した、ボリュームライセン

ス版 TruPass のプロダクトキーをハイフン(ー)無しで、エディットボックスに入力します。設定が終了したら「OK」ボタンをクリックします。

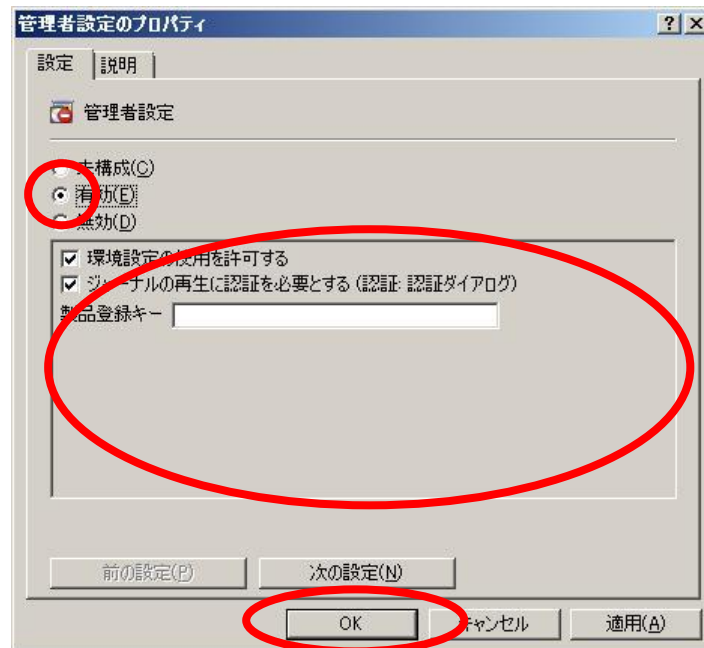


図 68 管理者設定のプロパティ

「グループポリシー管理エディタ」コンソールに戻ったら、右側ペインの「ジャーナルの再生」をダブルクリックします。

「ジャーナルの再生のプロパティ」画面が表示されたら、「有効」ラジオボタンをクリックし、下ペインに設定情報を入力します。設定情報につきましては、前述の TruPass 環境設定の項をご参照ください。設定が終了したら「OK」ボタンをクリックします。

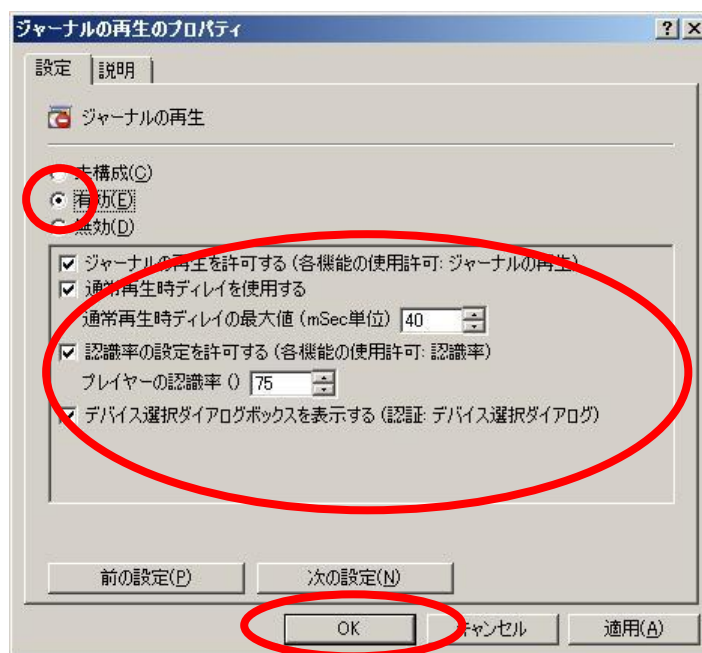


図 69 ジャーナルの再生のプロパティ

「グループポリシー管理エディタ」コンソールに戻ったら、右側ペインの「ジャーナルの作成」をダブルクリックします。

「ジャーナルの作成のプロパティ」画面が表示されたら、「有効」ラジオボタンをクリックし、下ペインに設定情報を入力します。設定情報につきましては、前述の TruPass 環境設定の項をご参照ください。設定が終了したら「OK」ボタンをクリックします。

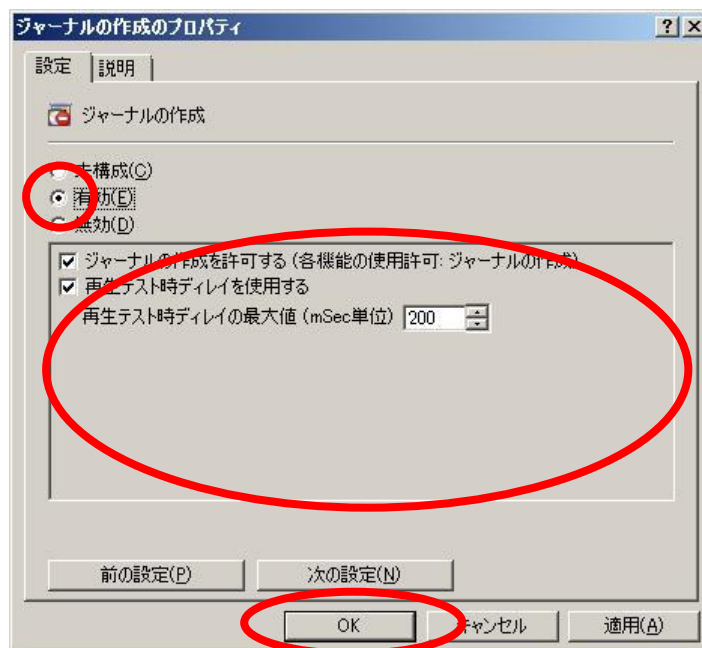


図 70 ジャーナルの作成のプロパティ

「グループポリシー管理エディタ」コンソールに戻ったら、右側ペインの「ジャーナルファイルの管理」をダブルクリックします。

「ジャーナルファイルの管理のプロパティ」画面が表示されたら、「有効」ラジオボタンをクリックし、下ペインに設定情報を入力します。設定情報につきましては、前述の TruPass 環境設定の項をご参照ください。設定が終了したら「OK」ボタンをクリックします。

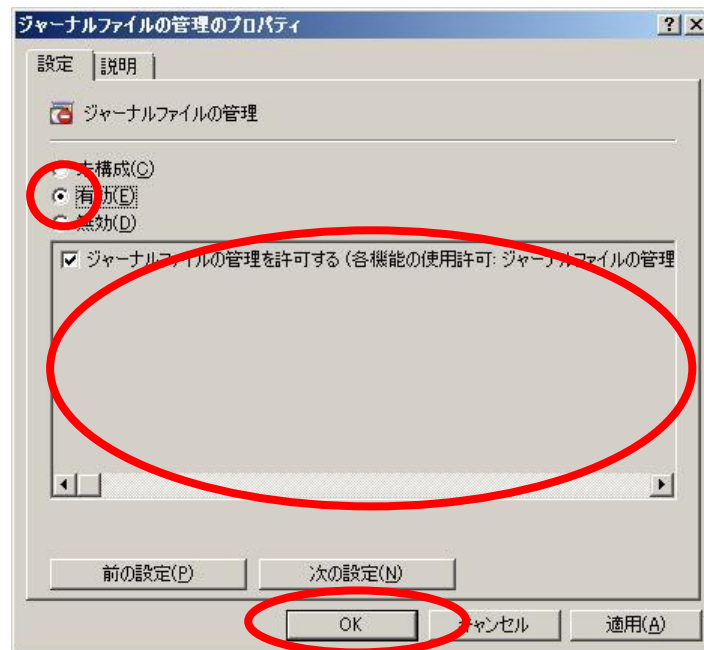


図 71 ジャーナルファイルの管理のプロパティ

「グループポリシー管理エディタ」コンソールに戻ったら、右側ペインの「環境設定」をダブルクリックします。

「環境設定のプロパティ」画面が表示されたら、「有効」ラジオボタンをクリックし、下ペインに設定情報を入力します。設定情報につきましては、前述の TruPass 環境設定の項をご参照ください。設定が終了したら「OK」ボタンをクリックします。

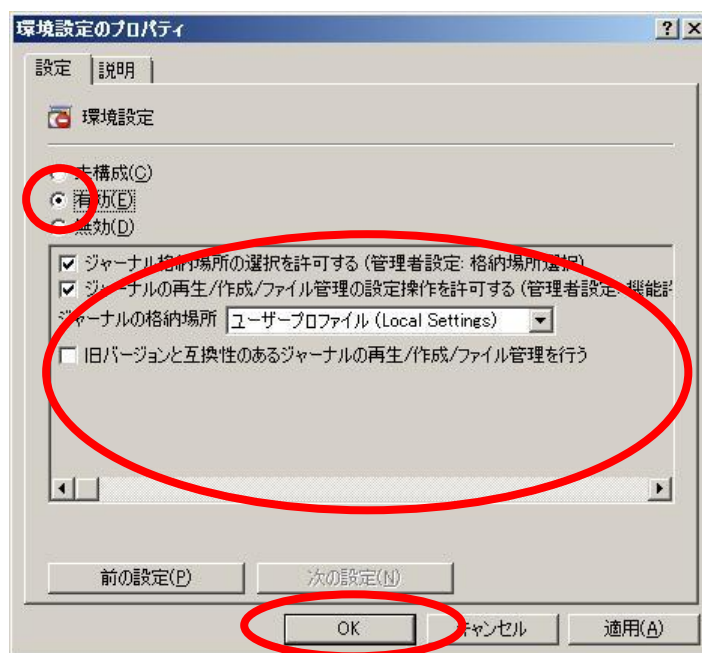


図 72 環境設定のプロパティ

「グループポリシー管理エディタ」コンソールに戻ったら、左側ペインで「管理用テンプレート」→「従来の管理用テンプレート」→「TruStack」→「TruGate Manager ver.x.x.x」→「TruCSP」の順にクリックし、右側ペインの「TruCSP」をダブルクリックします。

注） テンプレートによる設定は、ユーザーによる設定をオーバーライドします。クライアント PC の設定情報を一括変更する必要がある場合などにご利用ください。

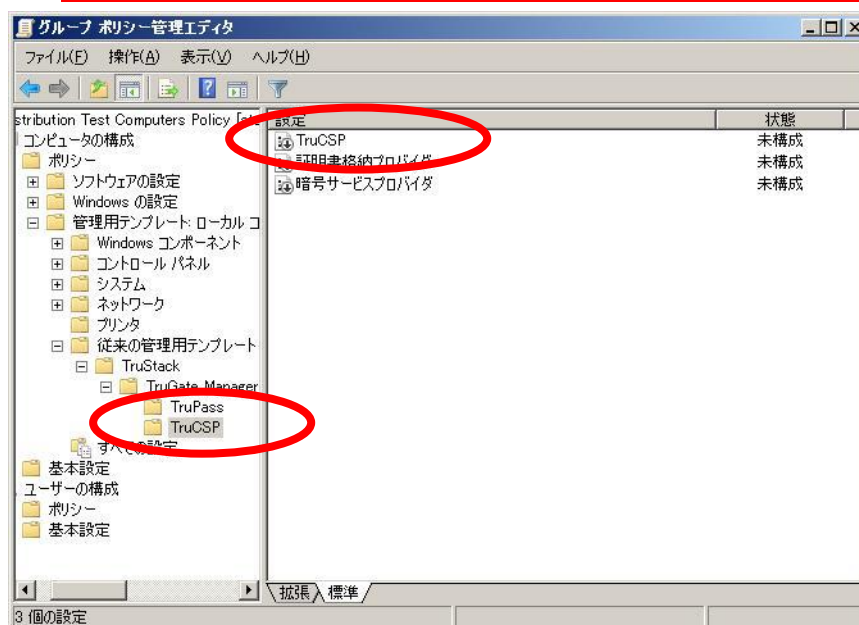


図 73 グループポリシー管理エディタ - TruCSP の設定

「TruCSP のプロパティ」画面が表示されたら、「有効」ラジオボタンをクリックし、下ペインの製品登録キーのエディットボックスに、別途入手した、ボリュームライセンス版 TruCSP のプロダクトキーをハイフン(－)無しで入力します。設定が終了したら「OK」ボタンをクリックします。

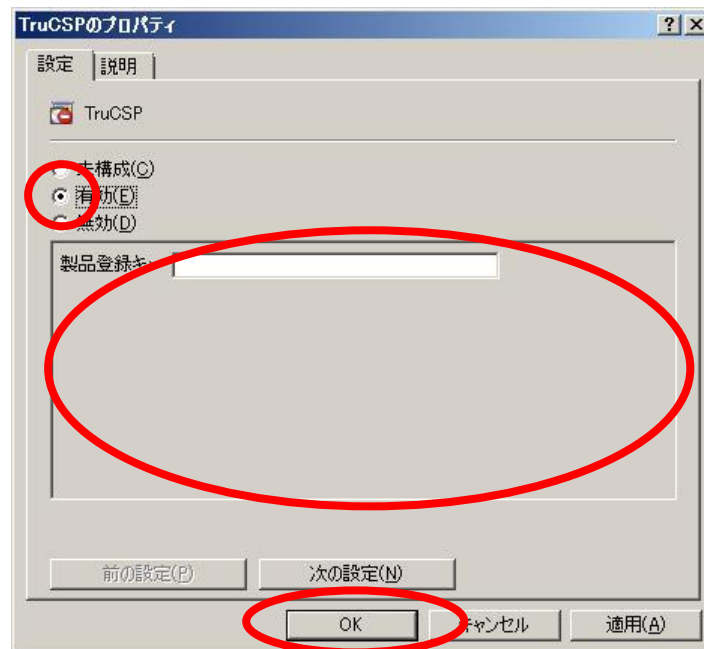


図 74 TruCSP のプロパティ

「グループポリシー管理エディタ」コンソールに戻ったら、右側ペインの「証明書格納プロバイダ」をダブルクリックします。

「証明書格納プロバイダのプロパティ」画面が表示されたら、「有効」ラジオボタンをクリックし、下ペインに設定情報を入力します。通常は、初期設定のままご使用ください。設定が終了したら「OK」ボタンをクリックします。

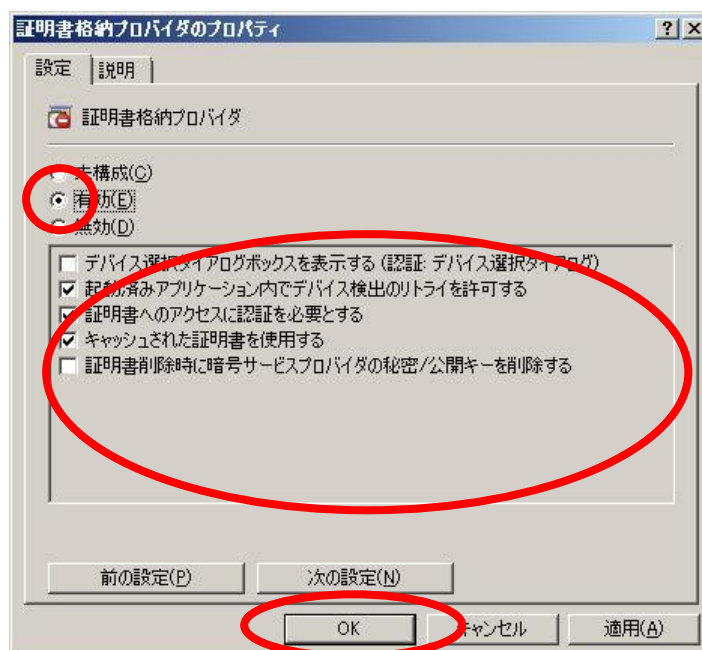


図 75 証明書格納プロバイダのプロパティ

「グループポリシー管理エディタ」コンソールに戻ったら、右側ペインの「暗号サービスプロバイダ」をダブルクリックします。

「暗号サービスプロバイダのプロパティ」画面が表示されたら、「有効」ラジオボタンをクリックし、下ペインに設定情報を入力します。通常は、初期設定のままご使用ください。設定が終了したら「OK」ボタンをクリックします。

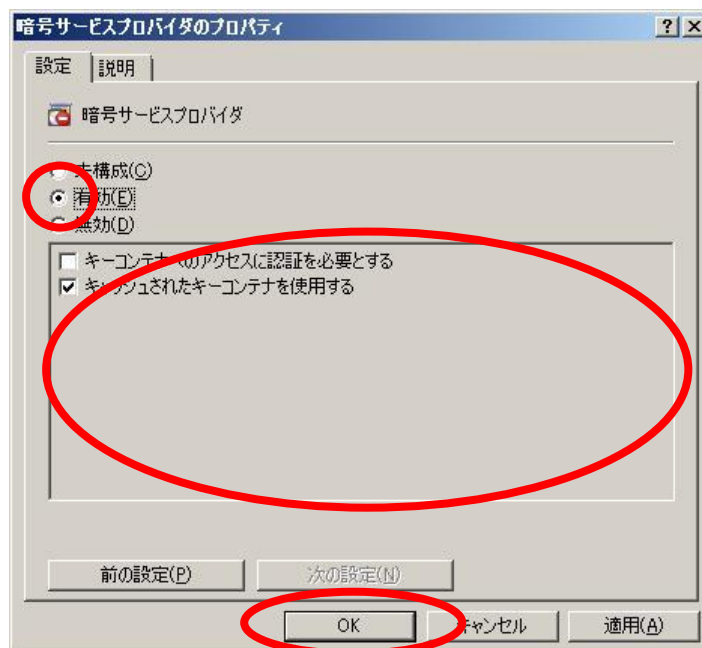


図 76 暗号サービスプロバイダのプロパティ

「グループポリシー管理エディタ」コンソールに戻ったら、メニューバーで「ファイル」→「終了」の順にクリックし、「グループポリシー管理エディタ」を終了します。引き続き、「グループポリシーの管理」コンソールに戻ったら、同様に「ファイル」→「終了」の順にクリックし、終了します。

c. 配布

配布用のグループポリシーが作成された後、先に作成した OU に属する配布対象のクライアント PC が再起動されると、その PC に対してグループポリシーが適用されます。

グループポリシーを直ぐに適用したい場合、クライアント PC のコマンドプロンプトで下記コマンドを実行してください。

```
gpupdate.exe /force
```

d. ポリシーテンプレートアップデート時の注意

ポリシーテンプレートをアップデートする際は、下記手順に従って実施してください。

- ① アップデートするテンプレートの設定を、一旦、「無効」にします。設定内容が空欄のものは、「無効」を適用すると自動的に「未構成」に変化します。
- ② 更新用テンプレートを Active Directory Server の<OS フォルダ名>\inf フォルダに既存のものとは異なる名前でコピーします。
- ③ 更新用テンプレートを追加します。
注) TruGate Manager では、設定変更される度にポリシーテンプレートの内部リビジョンが更新されます。
- ④ 追加された新テンプレートの設定情報を確認した後、「有効」にします。
- ⑤ 全ての配布対象ユーザー用 Client PC に更新されたポリシーが配布されたら、旧テンプレートの設定を「未構成」にします。
- ⑥ 旧テンプレートが不要になったら、「テンプレートの追加と削除」画面でテンプレートを削除した後、Active Directory Server の<OS フォルダ名>\inf フォルダから削除します。

以上

Trusted Stackware シリーズ製品に関するお問い合わせ

有限会社ディーオーアイネット

〒190-0011

東京都立川市高松町 2-25-23

E-Mail: info@doi-net.com

URL: <https://www.doi-net.com/>